

会報

第133号
(1997年10月)



関西ハーモニカ連盟

関西ハーモニカ連盟

会報 第133号

97年10月1日 発行

発行部数 250 毎年4, 7, 10, 1月に発行

関西ハーモニカ連盟

- 理事長 仲村 眞 7545 大阪市阿倍野区三明町2-6-10
☎06 624-5606 FAXも同じ
- 副理事長兼組織部長 上本 洋 7631 奈良市富雄北3-21-5-301
☎0742 43-7738 FAXも同じ
- 副理事長兼編集局長 吉村 則次 7591 堺市東浅香山町3-104-5-201
☎0722 51-9398 FAXも同じ
- 事務局長 田中 祥雄 7610-11京都市西京区大原野上烏見町14-20
☎075 331-1033
- 指導部長 白鳥 達夫 7577 東大阪市大蓮東2-9-12
☎06 728-7951
- 事業部長 飛田 保雄 7611 宇治市広野町寺山17番地の79
☎0774 41-6568 FAX 0774 43-3789
- 技術部長 宇佐美 進 7573 枚方市招提南町2-7-15
☎0720 57-2077 FAXも同じ
- 会計部長 後藤 貞男 7596 岸和田市春木旭町36-17
☎0724 41-0552 FAXも同じ
- 常任顧問 酒井 涼爾、吉森 正隆、平口 謙二、小林 忠夫、板村 忠重
特別顧問 森本 恵夫、齋藤 寿孝、徳永 延生、和谷 泰扶

入会のご案内

入会費 1000円、年会費(1-12月)個人5000円、賛助会員10000円
ハーモニカに興味のあるかたなら住居地にかかわらずどなたでも入会できます。
住所、氏名、電話番号を次の住所へ送り、入会金と年会費を指定振替口座に振り
込みください。

上本 洋(組織部長) 631 奈良市富雄北3-21-5-301

電話 0742 43-7738 FAXも同じ

郵便振替口座 00950-6-115527 加入者名 関西ハーモニカ連盟

年度途中入会の方には、当年度のバックナンバーをお送りします。

関西ハーモニカ連盟会報 97/10月号 目 次

表紙写真	オルケストラ・ハモニカ・デ・クリチバ(ブラジル)提供	吉村 則次	
	— 97/7月号p51「新しいCD」参照 —		
裏表紙	ハーモニカ	作成	吉村 則次
ハーモニカ・カレンダー(行事の実績と今後の予定)		編集局	3
朝日カルチャーのハーモニカ講座一覧		広告	7
97/11/23 徳永 延生 LIVE		広告	7
「ベースなんかやめちまえを読んで」		鄭江明氏	8
とっておきの話〔6〕鄭江明さんへお答え 特別顧問		森本 恵夫氏	9
97/6/21日本ハモニカ芸術協会随想録コンサート他写真集		編集局	11
レターボックス—皆さんからのお便り—		編集局	13
森本恵夫氏のCD第5集を聴いて		吉村 則次	15
コンサート、コンサート、コンサート—感想—		吉村 則次	17
迷い道		吉森 正隆	20
ポップス友の会「みんなのハーモニカコンサート」		大石 喜一郎	23
新しい郵便番号をお知らせください		組織部	24
関西ハーモニカポップス、小学校でハーモニカ実技講習	関西日ポップス		25
お知らせ、97/11/30 第8回ハーモニカ祭り		事業部	26
新しいハーモニカCD等		吉村 則次	27
便利ですよ「釣り道具屋に行こう、ピッチ変更CD等」		吉村 則次	29
盛況だったハーモニカカラオケ教室(研修会)		指導部	30
ハーモニカは衛生的か		入江 章次	31
質疑応答 金属的な音がするリード 北尾秀夫		編集局	32
詩『ハーモニカが吹きたい』		中島 喬	32
こんなにある、ご当地ソング総まとめ		白鳥 達夫	33
九州からまた二人も入会、会員の異動、新入会員紹介等		組織部	34
9月有線放送にハーモニカ専用チャンネル		編集局	35
97/10から堺市でハーモニカ講座開講		吉村 則次	35
平野区第2回ハーモニカ教室開始		宇佐美 進	35
97/10初来日のブレンダン・パワーのCD		吉村 則次	35
97/11/8 関西ハーモニカポップス定期演奏会		広告	36
京都ハーモニカアンサンブル		田中 祥男	37
97/9/20 小林忠夫、京都Hアンサンブルロビーコンサート		広告	38

同封物

- ハーモニカ祭り(97/11/30) プログラム
 97/10/25 第3回浜松ハーモニカフェスティバル チラシ
 97/11/8 関西ハーモニカポップス定期演奏会プログラム
 同 チラシ

1月号 予告

- 原稿締め切り 11月15日
 発行予定日 12月16日
 総会招集通知 日時、場所、議題をお知らせします。
 1998年度年会費請求
 (ドイツ)世界ハーモニカ大会コンテスト結果
 ほか

==ハーモニカカレンダー==

- 5/22 木 18:20 みんなのハーモニカコンサート 大阪府立文化情報センター、主催 関西ハーモニカポップス友の会 関西ハーモニカポップスを始めとし19名(組)が演奏した。同友の会事務局の人石氏の記事ご参照
- 6/1 日 F I H日本支部主催ハーモニカコンテスト 東京神山パンセホール、結果は、前号の差し込みご参照。クロマチック・ジャズ・ポップス部門では、アメリカ人のデイビッド・スティーンケンという方が優勝、総合グランプリも取得された。外国籍のかたが参加されたのは初めてではないだろうか。
- 6/6 月 関西ハーモニカポップスは、東大阪市太平寺小学校において、東大阪市音楽教育研究会主催ハーモニカ実技講習会を行った。内容は、演奏、説明、質疑応答等であった。別記事ご参照。
- 6/7 土 京都ハーモニカクワルテット、リレー音楽祭 in アトリウム 京都ブライトンホテル
- 6/14 土 シンフォニーホール、日本ライトハウス、チャリティコンサート、千葉県、日の不自由なハーモニカ奏者、中里聡氏がスピバコフスキー作曲のハーモニカコンチェルト及びソロで「マラゲーニア」を暗譜で演奏された。恐らくあのシンフォニーホールでハーモニカを吹いた最初の演奏者ではないかと思う。別記事ご参照。
- 6/14 土 京都ハーモニカクワルテット、ハーモニカとオルガンのしらべ クリエイト浜松(浜松市)
- 6/16 月 6.10pmより、NHK大阪テレビ「ニュース・パーク関西」で、飛田保雄氏の宇治市広野公民館のハーモニカ教室、木谷悦子氏の勤務先の高槻市役所、同氏自宅及び同氏が徳永延生ハーモニカ教室においてレッスンを受けているところの放映があった。(写真参照)。放映時間は約6分であった。
- 6/21 土 日本ハーモニカ芸術協会 関西支部連合会コンサート 堺市、サンスクエア堺ホール、有志のかた42人(組)が出演。当連盟特別顧問森本恵夫氏、及び芸術協会会主佐藤倭子(しずこ)氏も参加された。森本氏はチゴイネルワイゼンを吹かれた。参加予定の同協会理事長岩崎重昭氏は、残念ながら体調がすぐれず参加されなかった。(写真参照) ホールの天井が高いため、自然のリバーブ(残響)があり、いい音でした。
- 6/26 木 崎元 譲 出演 尼崎フロイデ合唱団「合唱とハーモニカの夕べ」尼崎アルカイック=オクト ギター伴奏でスカボロフェン等を演奏。

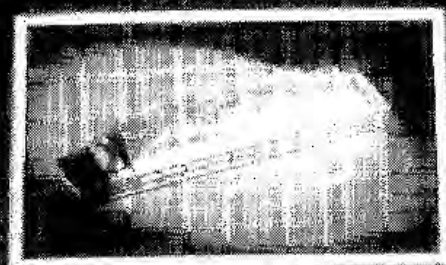


97/6/16 NHK-TV 関西ニュースパーク
宇治市広野公民館ハーモニカアンサンブル



97/6/16 NHK-TV 関西ニュースパーク
徳永ハーモニカ教室にて
木谷悦子氏を指導する徳永延生氏

大正の楽器



その二 ハーモニカ

6/27 金 20.00よりNHK-BS2の「日本のうた100年、大正のロマン・新しき歌の誕生」の3時間番組の中の「大正の楽器、その2 ハーモニカ」において、常任顧問平口謙二氏の演奏等が放映された。また全日本ハーモニカ連盟会長（トンプ楽器製作所の社長）真野泰治氏も出演され、ハーモニカの歴史を述べられ、複音ハーモニカを演奏された。合計約7分（写真参照）。ちなみに「大正の楽器」その1は、大正琴であった。

6/28 土 「西村由紀江の音楽の森へようこそ」

ゲスト ハーモニカ 崎元 譲
河内長野市ラプリーホール
西村由紀江のピアノで「カルメン」等数曲、大阪シンフォニカー選抜の弦楽四重奏のバックで、チマローザのオーボエ協奏曲、ゴードン・ジェイコブの「5つの小品」等を演奏された。別記事参照

6/29 日 13:30 崎元 譲のハーモニカ講座 河内長野市ラプリーホール、約50名のかたが受講された。写真及び別記事参照

7/4 金 崎元 譲のファンタスティック・ハーモニカ ピアノ 美野春樹
大阪フィルハーモニー会館、会場は大阪フィルハーモニー交響楽団の練習場兼コンサートホールである。天井が高く、残響があり、音楽にはいいホールであった。ということは、話は聞きづらかったということ。別記事参照

7/5 土 京都ハーモニカアンサンブル・コンサート「7月の風」

京都市上京区寺町通丸太町上る洛陽教会、主催/クリエイティブコンセプト、京都御所近くの洛陽教会で、小林忠夫氏が率いるアンサンブル8人（小林忠夫、新井義久、山中祥雄、吹上晴彦、木下加奈美、吉見忠、高畑幸夫、吉見治）に赤井由美子のドラム及び木下氏子息のパーカッションをプラスして、ソロ、デュオを含め、盛大に行われた。写真参照

97/6/27 NHK-BS2-TV
「うたの100年史、大正ロマン編」にて大正の楽器の一つとしてハーモニカが紹介されました。



97/6/27 NHK-BS2-TV
「うたの100年史、大正ロマン編」に当連盟常任顧問、平口謙二氏が出演し、ハーモニカの演奏をしました。



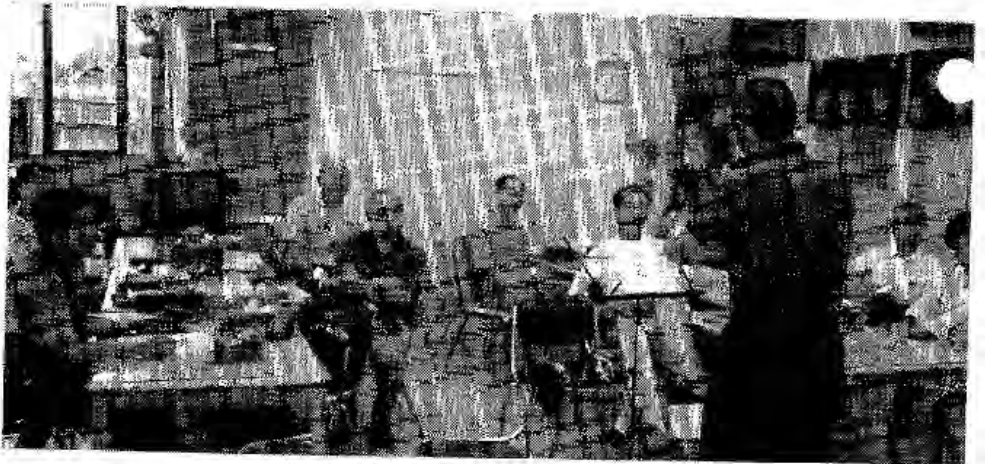
97/7/5 京都市洛陽教会にて
京都ハーモニカアンサンブル演奏会

7/10 木 NHK連続ドラマ「あぐり」で、美佐（松原智恵子）が歌う「アニー・ローリー」をバンデーターがハーモニカで伴奏をした。実際に演奏したのは、画面には出て来ませんが、東京の池田輝樹氏でした。演奏時間は30秒あまり。キャストのところに「ハーモニカ指導 池田輝樹」と出たのはうれしいことであった。



97/6/29 河内長野市ラプリーホール
崎元 譲ハーモニカ講座に約50人が集まりました。

7/12 土 2pm 連盟研修会「ハーモニカ・カラオケ教室」福田診療所にて講師 副理事長 吉村 則次 11名の会員が参加され「くちなしの花」「ウナセラディ東京」等を材料にカラオケ演奏の練習をした。また五線紙楽譜の読み方、移調の仕方等も習った。またフリー・コンサートも行った。



97/7/12 福田診療所友遊館にて
連盟主催研修会ハーモニカカラオケ教室で
デモ演奏するのは青木聡氏

7/20 日 2pm 海の日 記念ハーモニカコンサート、出演 もり・けん 主催及び場所 ATCエイジレスセンター もり・けん氏は、ハーモニカ奏者・童謡作家で、当連盟の吉森正隆常任顧問の子息

7/23 水 木谷悦子、高槻市役所ランチタイム・コンサートに出演

7/25 金 和谷泰扶、京都ブライトンホテルで演奏

7/26 土 和谷泰扶リサイタル、京都、青山音楽記念館（バロックザール）共演 ピアノ和谷麻里子、ファゴット水間博明、フルート大嶋義実 台風9号が上陸し、警報や注意報が出ていたので、行きたくても行けなかった人が多くいたはず。

7/27 日 和谷泰扶ハーモニカクリニック JEUGIA三条本店6階 20名弱が参加された。



97/6/27 NHK-BS2-TV
「うたの100年史、大正ロマン編」に
全日本ハーモニカ連盟会長真野泰治氏
が出演、ハーモニカのデモを行いました。

- 8/3 日 サマー・ジャズ・コンサートー What is Jazzー
西宮市フレンテホール 出演 アロージャズスペシャル
ゲスト ハーモニカ 徳永 延生
- 8/4 月 9pm 毎日テレビ 月曜ドラマスペシャル「螢の宿」で
ハーモニカ演奏のシーン多数、指導は東京の内田義三氏
- 8/11 月 連盟ハーモニカ祭りプログラム委員会、実施要領及びプログラムが決定された。
- 8/15(金)ー8/17(日) 徳永延生ハーモニカセミナー 長野県峰の原高原
- 8/24 日 ハーモニクス大阪コンサート 交野市ゆうゆうセンター
- 9/4 木 関西ハーモニカポップス大阪府中央区役所ランチタイムコンサート
- 9/6 土 京都ハーモニカクワルテット公文式野洲祇王教室20周年記念
コンサート、滋賀県野洲町さざなみホール
- 9/11木 関西ハーモニカポップス 椋原学院高等学校 文化祭に出演

これからのコンサート等

- 9/20 土 18:30 小林 忠夫と京都ハーモニカアンサンブル、ロビーコンサート
神戸市コープこうべ生活文化センター、2500円(ドリンク付)
問、075 331-1033 田中祥雄
- 9/27 土 京都ハーモニカクワルテット、ソロコンサート
島根県安来市、問、075 371-7690 和谷
- 9/28 日 14:00 ハーモニクス大阪 コンサート
交野市星田1-36-18 屋誕音楽堂 0720 91 9483 予約制2000円
問、0720 57-2077 宇佐美
- 10/15ー19 世界ハーモニカフェスティバル ドイツ トロシゲン
ツアーに加わらずに参加するものを含め、東京から約30名、関西地区から
7名が参加される。コンテストの結果は次号 問、吉村則次 0722 51-9398
- 10/25 土 浜松ハーモニカフェスティバル、浜松アクロシティ
ブレンダン・パワー(テナー級吹奏者)、松田幸一等、豪華メンバーが出演予定。
パワーは、日本では名前は知られていないが、ソロ及びサイドマンとして著名な
かたである。このフェスティバルには京都ハーモニカクワルテットとハーモニクス
大阪も出演する。
問、ハーモニカ振興会 053 461-2325 鈴木楽器、同封チラシ参照
- 10/26 日 15:00 日本ハーモニカ芸術協会定期演奏会 東京銀座ヤマハホール
ドイツの世界大会の入賞者が演奏される。だから出演者は未定。
- 10/31 金 堺市ハーモニカ教室開講、堺市教育文化センター
問、同センター 0722 70-8110、別記事参照
- 11/2 日 京都ハーモニカクワルテット、京都市立宕陰小学校コンサート
問、075 371-7690 和谷
- 11/8 土 2pm 関西ハーモニカポップス第22回定期演奏会 朝日生命ホール
問、大石 0726 41-2087
- 11/9 日 14:00 ハーモニクス大阪コンサート 枚方市津田北町2-25-3
津田公民館4Fホール 0720 59-6660 大人500円、中学生以下300円
問、0720 57-2077 宇佐美
- 11/9 日 11am 日本ハーモニカ芸術協会 ハーモニカ・アンデパンダン
新宿文化センター
- 11/15 土 1月号会報原稿締め切り
- 11/16 日 京都ハーモニカクワルテット、5周年記念コンサート
音楽の友ホール(新大阪) 前売り2000円、問、075 371-7690 和谷

- 11/22 土 京都ハーモニカクワルデット 5周年記念コンサート
 青山音楽記念館(バロックザール)(阪急嵐山線上桂歩5分)
 問、075 371 7690 和谷
- 11/23 日 徳永ハーモニカ教室発表会及び徳永延生LIVE ゲスト宮野英子(v)
 心斎橋 国際楽器社4Fコンサートホール 徳永LIVEは3000円、問、06 934-7266
- 11/30 日 関西ハーモニカ連盟ハーモニカ祭り 兵庫県民会館9階ホール
 問、飛田 0774 41-6568 同封チラシとプログラム参照
- 12/15 月 会報98/1号発行 総会招集、会費請求
- 98/1/15 祭 連盟年次総会及び理事会、懇親会 場所、北京料理徐園
 1月号で招集します。

「ハーモニカカレンダー」では、過去4カ月ぐらいのハーモニカ行事とこれからのハーモニカ行事の予定を掲載し、皆様の便宜を図っております。編集局も耳・目・口を大きく開いてニュースを収集しておりますが、それでも逃しているものも多いと思います。ニュースが入りましたら、ダブっても結構、編集局にお知らせください。



ハーモニカの講座

大阪 朝日カルチャーセンター

97/7-9案内より

講座名	講師	曜日・時間・期間	受講料 3ヶ月分	場所
ハーモニカ合奏を楽しむ	白鳥達夫	第2・4月曜18:00 5回	9000	大阪 中之島
ハーモニカ C調複音ハーモニカ21穴	白鳥達夫 山村信彦 入江章次	30分の個人レッスン 10回 月・木・土曜日	16300 から 22400	北区芝田 梅田ハモンド センター
ハーモニカ	入江章次	30分の個人レッスン 10回、火曜日	19000	高槻市川西町 平和堂楽器
ハーモニカ	入江章次	30分の個人レッスン 10回、曜日時間相談	19000	吹田市千里丘 松本楽器

詳細は朝日カルチャーセンター 06 222-5222 へ

クロマチック・ハーモニカ
徳永 延生 LIVE
 Jazz Vocalist 宮野 英子

97/11/23(日) 6:30
 心斎橋 国際楽器社4Fコンサートホール
 入場料 3000円(前売り2500円)
 主催 徳永延生ハーモニカ教室 06 934-7266

出演者

ボーカル 宮野 英子 ハーモニカ 徳永 延生
 ピアノ 多田 恵美子 ベース 村松 泰治
 ドラム 中島 俊夫
 司会 毛田 裕美

演奏曲目 イパネマの娘、わが心のジョージア、嘘は罪、等

森本忠夫氏の

「ベースなんかやめちまえ！」を読んで

鄭 江 明

関西ハーモニカ連盟会報97年1月号記載の「ベースなんかやめちまえ！」について、多少意見を述べさせていただきます。

先ず、森本氏は「ベースが入るようになると、鬼の首でも取ったように喜んで…」と述べておられますが、ベースが出来れば伴奏用テクニックを一つ習得して、一歩前進したことで喜ぶのは当然であります。

又、「ベースが入るか入らないかで上手下手が決められた時代があった…」とも言っておられますが、これもおかしい。ベースが出来るといっても演奏の上手な人もおれば下手な人もおるから、これによって上手下手が決められると言うのは納得出来ません。

ハーモニカは構造上、ベースは必ずしも全部が和音とは限りません。それは吹き方によって、いろいろと感じが違ってくるものです。したがって、ベースは必ずしも全部が和音でなくてもよいと思っております。

私たちは、ベースは太鼓やシンバル同様にリズムの一種だ、という考えに重きをおいております。ここでいう私たちとは、私と同意見である多くの奏者の人達であります。

森本氏は、これを知ったかぶりと決めつけておられるが、そうすると、この人達は皆、知ったかぶりをする人で、ひとり森本氏だけがそうでないということになります。

果たしてそうでしょうか。

和音、和音と、それに拘って重箱の隅ばかりをほじくると、角を矯(た)めて牛を殺す結果になりかねません。

又、森本氏は「私が一生懸命ベースを入れて吹いたら、そのザッザッという雑音を止めてほしいと叱られました。音楽をやる人には、ベースは雑音に聞こえるらしいですね。」と言っておられるが、森本氏が一生懸命ベースを入れて吹いた会心の演奏を、レコーディング・ディレクターが、その雑音のベースを止めて、素朴に、シンプルに叙情性を出すようにとの指示通りに吹いて出来上がったのが、あの一連の「わが心のハーモニカ」のCDだと言われております。

つまり森本氏は、これが一番よいと思って一生懸命に吹いた演奏を、レコーディング・ディレクターに注意されて、翻然と悟り、その指導通りに吹いたら、本人も、これだ、と満足した会心の演奏「わが心のハーモニカ」のCDが出来たということになるが、一体、森本氏は何年間ハーモニカを吹いてこられたのか、と疑いたくなります。

ドイツで開催された「ワールド・ハーモニカ・チャンピオン」に優勝した菟谷幸男氏は、昨年東芝よりハーモニカのCDを発売し、日本レコード大賞・企画賞を受賞しました。このCDは、非常に評判がよいので、同社は、また次のレコーディングをして貰いたいという申し出があるようです。

大石昌美氏は、キングレコードよりハーモニカ名演集CD6枚、コロムビアより心のハーモニカCD3枚発売して、これも非常に評判がよいので、両社とも又レコーディ

ングして貰いたいと言っているようです。

この兩名は皆ベースをよく吹いています。

森本氏が言われるように、音楽をやる人、つまり音楽のよく分かる人にはベースは雑音に聞こえると言われるが、そうすると東芝、キングレコード、コロムビア各社のレコーディング・ディレクターは音楽のよく分からない人達だ、ということになります。果たしてそうでしょうか、原因は他にあるのではないかと思います。

知名度の高い、複音ハーモニカの第一人者と称される森本氏の言われることは非常に影響が大きい。その説を一般の愛好者がそのまま、無条件に信じてしまう、それが気になります。

今は昔、数十年前のことだったかと思いますが、佐藤秀廊先生と大場善一先生が同じくベースについて、議論したことがありました。

このことは、直接私が大場先生から聞いた話であります。

佐藤先生が大場先生に向かって「ベースが和音的によくないと言うなら、今後、君はベースを吹くな」と、大場先生は私に「これには参ったよ」と言われました。

歴史は繰り返す。今頃再びベースを議論されるならば、森本氏は自分の提案どおり今後自分から「ベースなんかやめちまえ」を実行してください。

（編集局長注。鄭氏（日本ハーモニカ協会理事長）より上のおり貴重なご意見をいただいた。複音ハーモニカの「ベース」については、各人それぞれご意見があるようです。また、これは最近の議論ではなく、相当昔から議論されて来た歴史的なことのようですね。結論が出るテーマではないかも知れません。大いに議論して向上を目指し、ハーモニカの拡大発展に努めたいと思います。会報の上で、意見交換をしたいと思っておりますので、皆様からの賛成意見、反論、ご感想等を編集局あてお寄せください。）

#####

とっておきの話 [6]

鄭 江 明さんにお答えします。

関西ハーモニカ連盟 特別顧問 森本 恵夫

私が、「とっておきの話」として、本会報97年1月号に、ベースなんかやめちまえ!! という記事を書いたところ、鄭江明さんより長文のご意見を頂戴致しました。

私は、いつも原稿の終わりに（異論、反論をどうぞ）と書いておりますのは、自分の言った事は常に正しい、とは思っていないからです。自分なりに信念を持って正しいと考えたことでも、自分以外の角度から見ると、違った結論が出る場合があり、それと自己の意見をくらべて、どちらを取るべきかを考えることが、自分の反省と進歩につながると思うからです。

一度言い出したら、絶対に前言を翻さないという方を時々見受けませんが、私はそうならないように努力したいのです。

鄭さんの異論として、

ベースは全部が和音でなくとも、リズムと考えればよい、と言うご意見がありました。ご尤もです。私もそう考えた時期があったのです。

然し分類するとピアノの左手や、ギターのように、和音感を持ったリズムと、ドラムやシンバルのように和音感を持たないリズムに分かれますが（ティンパニーはチューニングします。）どうしてもハーモニカのベースは、和音感を持ったリズムの方になってしまうのです。

過去において、ベースは、どうせ原曲通りの和音は出せないのだから、リズムとして片付ければ良いではないか、と言う時代がありました。が、音楽的レベルの向上した現代では、ベースの乱用は、違和感のある雑扶物として受け取られてしまうのも事実なのです。

ここに、ハーモニカ界の内部から見たベース感と、外部から見たベース感の相異が表れてくるので、我々としては、この問題を謙虚にとらえて、考え直す時期に来ていると考えるのです。ベースを考えることは、決して和音に固執して重箱の隅をほじくっているのではなく、複音ハーモニカの独奏という形態を、より音楽の土俵に近づけるための一手段なのだとお理解いただきたいのです。

私は、鄭さんにお叱りを受けるまでもなく、60年複音ハーモニカを吹いて来ておりますが、70年吹こうが、80年吹こうが、たとえ自分が一番よいと思ってやって来た事でも、見直すべきことは見直して、次への道を切り開こうと思い「わが心のハーモニカ」にチャレンジしました。これが最善の道だなどとは思っていませんし、単に試行錯誤の域を出ず、満足はおろか、反省の繰り返しばかりしております。

私と違った路線で活躍されている大石昌美氏や薮谷幸男氏の演奏は共に素晴らしく、その行跡は私の及ぶところではなく、深く敬服しております。私は、単に私の考えの及ぶ範囲で仕事をしているだけあって、私と違う立場と考え方で仕事をなさっている他社の批判などは一言も言っていないのに「他社の音楽ディレクターは、音楽がよく分からない人達だ」と私が言っているように受け取られたのは、とても残念です。

最後に、他の皆様の疑問にもお答えする意味で蛇足をつけ加えますと、

物事の必要性を論じる時は、否定から入り、その否定の矛盾から肯定へと導くという論法があります。

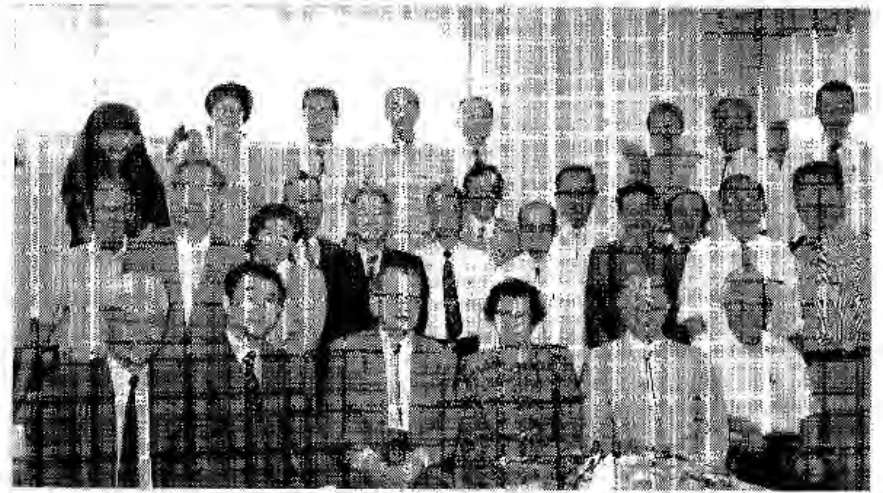
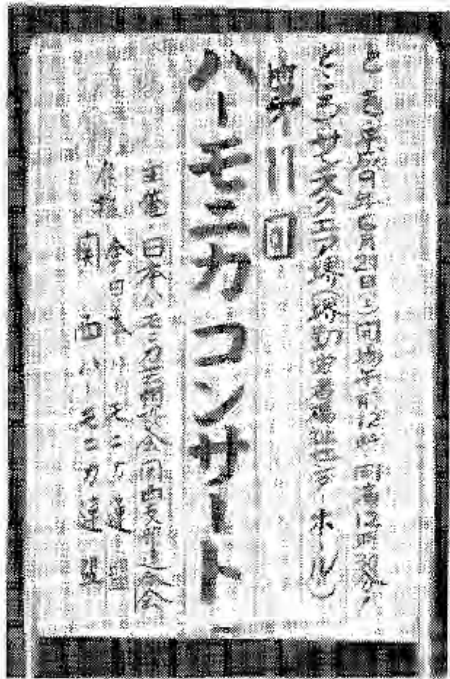
ベースを無くしたら、複音ハーモニカの独奏など有り得ません。それを百も承知の上で「ベースなんか、やめちまえ!!」などという物騒な標題をかかげたのは、やめろというのでは無く、今後どういう形でベースを取り扱っていったらいいかということ、もう一度議論し直してほしいための問題提起だったのです。

それにしても、鄭さんの異論、大変有り難うございました。

お陰で、前稿で述べ足りないところを、追記させていただくことが出来ました。

しかし、この問題は奥が深いので、異論のまた異論というように、いろんな異論が出て来てほしいものです。

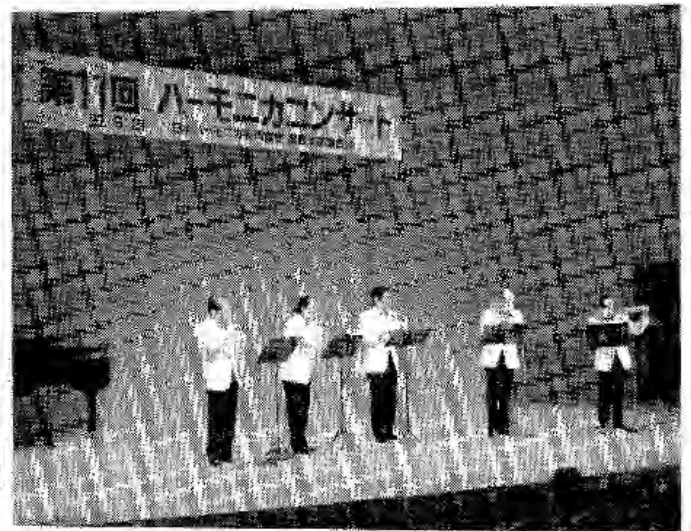
シャレが出て来たところで、ハイ、それまでよ～～～ン。



97/6/21 日本ハーモニカ芸術協会
関西支部連合会コンサート
終了後のパーティにて



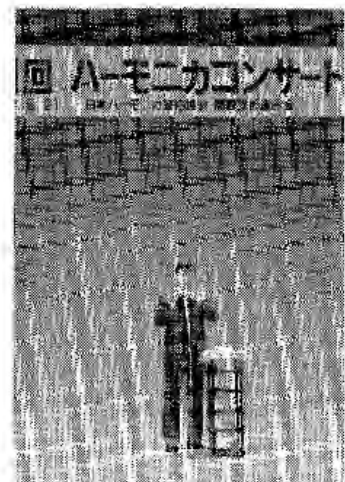
尼崎ハーモニカエコーズ



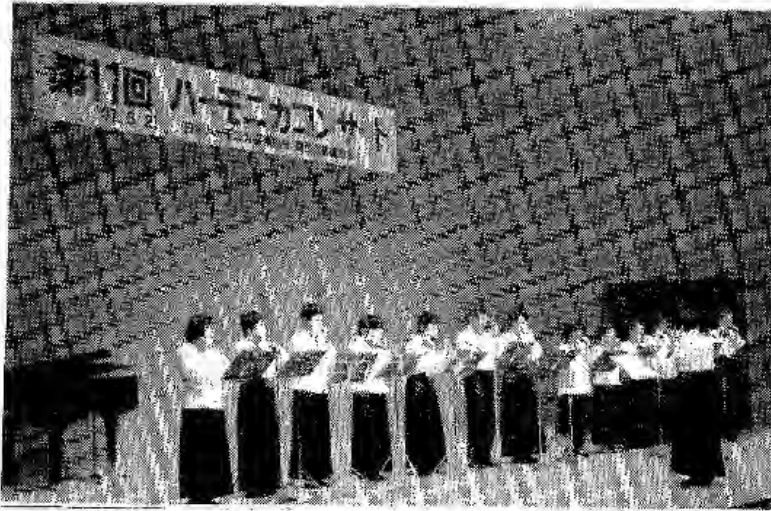
ハーモニクス大阪



エコーズグリーン六甲



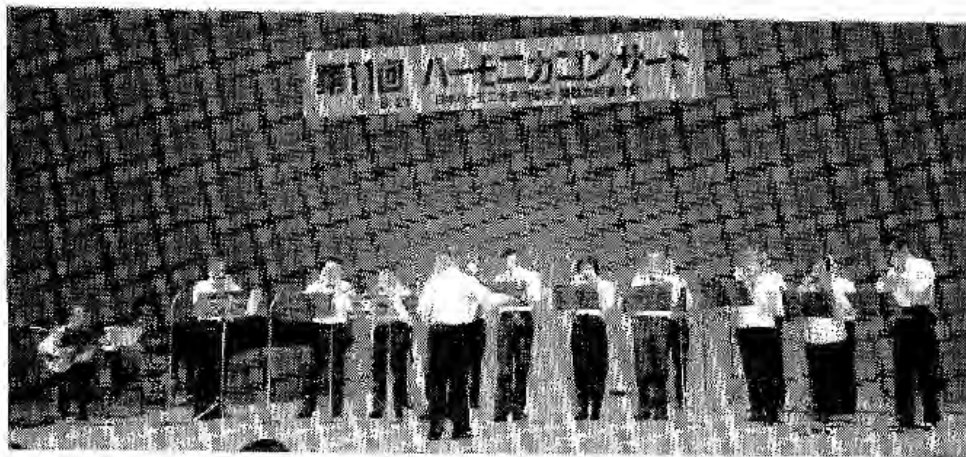
特別顧問 森本 恵夫 氏



刀根山ハーモニカ愛好会



吉森 正隆 氏



関西ハーモニカポップス



97/6/16NHK-TV 関西ニュースパーク
カルチャー&エンターテインメント
ハーモニカ特集、大浦アナウンサー

レターボックス 会員等からのお便り

97-5-28

私たち京都ハーモニカクワルテットは、今年で結成5周年を迎えることになりました。これを記念し、京都・大阪で5周年記念コンサートをする運びとなりました。また、初のCDを発売させていただく予定です。ご来場くださいましたら幸いに存じます。

9/27 土 島根県安来市 京都ハーモニカクワルテットソロコンサート

10/25 土 アクアシティ浜松 第3回浜松ハーモニカフェスティバル

11/2 日 京都市立宕陰小学校音楽鑑賞コンサート

11/16 日 音楽の友ホール(新大阪)

京都ハーモニカクワルテット5周年記念コンサート 前売り2000円

11/22 土 パロックザール(青山音楽記念館)(阪急嵐山線上桂駅5分)

京都ハーモニカクワルテット5周年記念コンサート

京都ハーモニカクワルテット 和谷 篤樹 075 371-7690

97-6-5

博物館にハーモニカを展示しませんか

私は、当地のBarrel Organ Museum (バレル・オルガン・博物館、オランダ、ヘルモンド市) に展示するハーモニカの寄付を求めています。すでに、ラリー・アドラー、ジェリー・アドラー、ピート・ピーグスン等著名なかたから寄付をいただいております。古いものならなお結構ですが、別に最近のものでも結構です。

「This harmonica was donated by ○○○○○(あなたのサイン)」と書いた紙をつけてお送りください。

アート・ダーネ(オランダ、ヘルモンド市)

ご希望のかたは、編集局長あてお送りください。責任を持って先方に送り、先方の受け取りレター(及びできれば展示された写真)を取り付けます。なお、オランダ向け郵送料金約1500円をご負担いただきます。

私は、DmとD#mの複音ハーモニカセットをに寄付しました。(吉村 則次)

97-6-18

北海道ハーモニカ連盟

「ノース・ハーモニカ」より

連盟総会97/5/17に開催、会員32名(内出席16、委任状16)

組織、顧問6、会長 早川健、副会長6(各支部長が兼務)、事務局長 大谷木正隆、支部 6、年会費3000円

全道ハーモニカ・コンサート 97/9/20土 帯広市 とかちプラザ

レインボー・ホール 入場料1000円 ゲスト オジョイメイ・トリオ

97-6-21

拙い小論を御誌7月号に掲載して頂き恐縮しております。

◎7月号p6の中程、男64さん、「自分でバイオリン譜から編曲し..」とありますが、後塵を拝するを潔しとせぬ人なら当然のことです。

若いころ、半音めきの楽譜にあきたらず、原譜を探して、自分で編曲したものです。そのため楽典を独学で勉強しました。

◎7月号p9の中程に「五線譜を数字譜に直す方法...」とあります。#やbがいくつあっても、一番右にある#を7、最右端のbを4と読めば、1又は6は自ずから

きまります。それを基音にすれば、自ずから譜は読めます。

◎バイオリンでフラジオレット（笛音）のことをハーモニックスと申します。

一指（人差指）で弦を押さえ、四指（小指）で四度上を軽く弦にふれると、二オクターブ上の笛のような音が出ます。それをハーモニックスと申します。

ハーモニックス大阪は、それとは関係がないでしょうが、フト連想しました。

◎私の子供の頃（大正）は、楽器と言えはハーモニカしかなかったのです。

その頃の思い出をもつ人が今は老年です。若い人はもっと高価で精巧な、そして刺激的な楽器を好むようですね。音楽は妙なもので、テクニクのむずかしい楽器ほど発展していますね。

「誰が吹いても同じ音が出る」ことが逆に魅力をなくする原因になっていないでしょうか。現状にへばりこんで安心しては発展しません。古い論理の否定こそ創造の母胎です。

徳永 至（福岡県大川市）

97-6-25

中部ハーモニカ連盟 C I I F NEWS
No. 15 97/6/23

7/6 ホルンハーモニカ 講師 村松 悟 氏

8/3 和谷 泰扶 クロマチック講習

9/21 ビネタ講習 講師 征矢野 晃 氏

11/9 田川先生リサイタル

日本芸術協会中部支部連合会コンサート

97/8/10 12:00 愛知県勤労会館ホール

参加料1000円 演奏料 アンサンブル 1名あたり500円、ソロ 500円

申し込み締め切り 7/20 申し込み先 同連合会 052 811-0491

97-7-3

先日はラブリーホールの崎元讓公演にお越し下さり、ありがとうございました。また、この度は御連盟の会報等貴重な資料をお送り頂き、誠にありがとうございました。

今後も幅広い音楽ファンに楽しんで頂けるような企画をして参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

河内長野市ラブリーホール、プロデューサー 銚谷かおり

97-7-4

先日、崎元讓先生のすばらしいハーモニカの演奏と講座を2日続きで楽しませていただき感謝しました。終了後、早速、吉村様のお骨折りでクロマチックの先生のご紹介をいただいた上に、関西ハーモニカ連盟の会誌などの送付をしていただき感謝しております。会の大いなるご発展と、機会をみつけての入会をどうぞよろしくお願い申し上げます。

河内長野市千代田 三軒 忠

ハーモニカ界はいろいろな人の提案や議論を通じて益々発展して行くと思っております。

私はそれを歓迎し望んでいます。今後とも宜しく。

鄭 江 明（日本ハーモニカ協会理事長）

珍しい曲にわくわく

森本恵夫氏「わが心のハーモニカ」

CD第5集を聴いて

吉村 則次

森本恵夫氏は、複音ハーモニカのCDを、ビクターから連続して今まで4集まで発売されているが、今回、とうとう第5集までこぎつけられた。いつまで続けていただけるのか、まだまだ楽しみは続く。

さて、今回の第5集、曲のタイトルをみただけで、聴く前からわくわくした。

「鳥の歌」、あのカザルスが、1961年11月13日、ホワイトハウスで、当時のケネディ大統領の前で、ソロ演奏したことで有名なスペイン民謡のチェロ曲である。非常に悲しい曲である。

「ハバ・ナギラ」、私もトリオで演奏したことがある、イスラエルの民謡である。確かイスラエルのあのアドラー・トリオも演奏していたはず。

「禁じられた遊び」、あの映画の主題歌で、もともとは、これもスペイン民謡、森本恵夫氏のオハコである。私もクロマチックで練習をしたことがある曲である。

「黒い瞳ートロイカ」「赤いサラファン」、説明を要しないロシア民謡。

「コンドルは飛んで行く」、南米の民謡

「愛の讃歌」、結婚式で演奏するのにピッタリのシャンソン

「オー・ソレ・ミオ」「マリア・マリ」「帰れソレントへ」「サンタ・ルチア」、言わずと知れたナポリ民謡。

その他インドネシア民謡の「ブンガワンソロ」、日本古謡の「お江戸日本橋」等ポーランドから、アメリカ、南米までの10曲を加え合計21曲。

このように非常にバラエティに富んだ、いい選曲である。

さて、わくわくしながらCDをかけ始めると・・・・・・

音の質は、今までの第4集までと同様鉄板リバーブが気持ち良い。リバーブはFMT-140、マイクロホンはRCA-77DX。第1集から一貫して同じ機材を使っておられる。始めから終わりまで、同じトーンで聞かせたいという意向であろう。

反響のいい大きなホールか、トンネルの中で演奏されているような雰囲気である。

曲によっては少しリバーブを短くしたものがあり、また同じ曲の中でもリバーブのレベルを変化させておられ、個別に配慮がなされている。

しかし、さらに短くした方がいいのではないか、と思う曲もあった。これは主観であるから、各人感じ方は異なるはず。

ハーモニカの、伴奏なしのソロ演奏は、全般的に見て「静か」である。森本恵夫氏が、一人寂しく、大きな、真ん中だけ明るいホールで演奏をしている、ほかには誰もいない、という感じがする。どんな曲も、複音で吹くと哀愁を帯びてしまう。複音の微妙なトレモロが、本質的にそう感じさせるのか、あるいは、森本恵夫氏のビブラー

トないしは音の「ゆれ」がそう感じさせるのか、ともかく寂しい。

日本の古謡や「マイ・ウエイ」のような、もともと静かな曲ならまだしも、今回のような収録曲には、やや静かすぎるように思う。

私は、どちらかと言えば、やはりピアノ伴奏があったほうが良いと思う。ときには打楽器も入った方がよいと思う。

「赤いサラファン」「黒い瞳ートロイカ」や「ハバ・ナギラ」のような曲には、特に伴奏が欲しいと思う。

聴衆に迎合せよという訳ではないが、少し華やかにしたほうが、若い人に喜ばれるのではないのでしょうか。

今までは、「伴奏なしの複音ハーモニカソロ」「ベースもあまり入れるな」という制作者側の大方針があったことと思われるが、次回第6集以下は、ピアノ伴奏で演奏するものも入れられては、と思う。

曲別に個別に感想を述べると。

「鳥の歌」、私自身がカザルスのチェロで聞き慣れているせいか、もう少し低音がほしかった。したがって、もしピアノ伴奏があるのなら、16穴のクロマチックを使い、一番低いEから始めるともっといいと思うが。

しかし、チェロの「鳥の歌」を聞いたことのないかたは、別にこういう感想は持たないと思う。複音も別の味があっていい。複音を使われるならバリトンハーモニカか、オクターブハーモニカを使われて、低い方で重厚な音で演奏されるのを聴きたいと思う。

「禁じられた遊び」、森本恵夫氏のオハコであり、その激しい演奏は、あちこちで何回も聴かせていただいているが、このCDのものはナマで聴いたものに比べ少し「静か」である。

やはりCDでは、体の動きが見えないのが残念である。

音楽というものは、ハーモニカに限らず、耳で聞くだけのものではなく、目で、体で、見て感じているものだと思う。

「コンドルは飛んで行く」、夕暮れをコンドルが飛び去って行くのが目に浮かぶような演奏である。

ジャケットの絵は、従来どおり谷内六郎の絵だが、今回は珍しく日本の田舎風景ではなく、ドイツの木組が見える古い家、内容にピッタリか。(p22ご参照)

総合的に見て、私は今回の第5集が、編曲、演奏方法及び収録曲からみても、一番好きである。ヒットすること間違いないと思う。

とみに論争の多い、複音ハーモニカにおける「ベース」「分散和音」についても、とやかくいう人も多いが、このCDでは、その時その時で適切な調子のハーモニカに持ち替えているせいか、全く不自然さはなく、気持ちいい。

吉村 則次

中里 聡

第15回日本ライトハウスチャリティコンサート 97/6/14 シンフォニーホール

日の不自由な中里聡(さとる)氏のハーモニカの演奏を聴くのも興味があったが、もう一つの興味は、あのシンフォニーホールでハーモニカがどう聞こえるか、であった。日本で一番残響が長いという、評価の高いホールである。

さすが、ハーモニカで、音の大きさの点で普通のサイズのオーケストラに対抗できるわけではなく、残念ながらスタンド・マイクロホンを使い、その音をモニタースピーカー3個でオーケストラに向かっても戻していた。なるほど聴衆に対してのみならず、伴奏をするオーケストラのかたにもソロの音が聞こえなければならなかった訳で、やむを得ないことだと思う。

したがって、生のハーモニカがシンフォニーホールでどう聞こえるかは、残念ながら分からずじまいだった。

マイクロホンを入れてはいたが、オフ・マイク(マイクを少し離して使うこと)なので、オーケストラが管楽器を含めフルに鳴るときだけは、ハーモニカの音が消されてしまった。

演奏曲目は、スピバコフスキーのハーモニカ協奏曲と、伴奏なしのソロで「マラゲーニア」の2曲であった。中里氏の演奏は以前から何回か聴いているが、以前にも増して、強弱やビブラートに気を使われ、魅力的になっていたと思う。

彼は背が高く(180センチくらい)、また手も大きいので、12穴のクロマチックは完全に手のひらの中に包まれてしまい、それを音のカラー作りに上手に利用していたように思う。

聴衆は、主催者の日本ライトハウス関連の視力障害者と、協賛の城東ロータリークラブのメンバー関連が大部分だったと想像するが、いずれもハーモニカであるような本格的なクラシックを聴くのは初めてであったことと思う。みんな驚きの趣であった。

メインのプレーヤーである

和波孝禧(たかよし)氏(同じく視力障害のあるバイオリニスト)に対するより遙かに大きい拍手が、中里氏に対してあったように思う。

なお、バックは千里市民管弦楽団という、プロではないオーケストラであったが、あ

のように、本番近くに初めて楽譜を見て、演奏はこれっきりで、多分2度とは演奏する機会がない、というような曲は、大変だったことと思う。

譜面はレンタルで、終了後はまたイギリスに返されるとのこと。

視力に障害があっても、努力次第であるように素晴らしい演奏ができることを知って、聴衆全員(私も含め)は勇気づけられたことと思う。

なお、視力障害のかたは、どうして音楽を習得するかというと、最初ボランティアのかたが楽譜を点字に直してくれるそうで、それで練習するそうです。当然これは最

目の不自由な
演奏家が出演

あす大阪で慈善公演

日の不自由な演奏家たちによるチャリティコンサートが、十四日午後六時半から、大阪市北区のサ・シンフォニーホールで開かれる。

社会福祉法人日本ライトハウス(大阪市鶴見区)が主催。バイオリン独奏は和波孝禧さん、ハーモニカ独奏は中里聡さん、オーケストラは千里市民管弦楽団。二人は目が不自由な演奏家だ。曲目はチャイコフスキーのバイオリン協奏曲二長調など。三千五百円。収益は障害者の職業訓練などに生かす。問い合わせは日本ライトハウス(〇六―九六一―五五二)まで。

初だけのことで、いつまでも点字を指で読みながら演奏できるわけではないので、すぐ暗譜に移すとのことでした。

崎元 讓、河内長野市ラプリーホール 97/6/28
「西村由紀江の音楽の森へようこそ」

大部分は、関西では非常に人気のある西村由紀江（テレビでは、10チャンネルの「日曜はピアノ気分」及びNHKの「日曜美術館」のレギュラー）の魅力の引かれて来られたかと思うが、1300のホールは、ほぼ満員であった。

「ハーモニカが入っている、珍しいことだな」という感覚で来られたものと思う。それで良かったと思う。ハーモニカを知らない人に、クロマチック・ハーモニカの素晴らしさと、ハーモニカでこういうこともできるのだ、ということを知っていただいた訳だから。

ハーモニカでチマローザのオーボエ協奏曲を演奏するなんて、だれも想像していなかったであろう。（演奏曲目は事前には出ていなかった。）

崎元讓さんの音は非常に大きく、大きいだけではなく、通りやすい音だと思う。一応マイクは用意されており、使うときもあったが、弦楽四重奏と一緒にときは使っていなかったと思う。小さいときも、1300のホール全体に聞こえていたものと思う。

考えようによっては、小さい音があったからこそ、よく聞こえたということも言えるのではないだろうか。すなわち、始めから終わりまで大きな音で吹いていたなら、聴衆の耳もそれに対応して、無意識に感度を小さくしてしまう。ときどき小さい音があるから、聴衆の耳は、神経をとがらして、音を聞き漏らさないよう感度を上げる。それに、聴衆は騒音は出さないように努力する。だから良く聞こえる、ということではないだろうか。

人口12万の大阪の小さい都市で、崎元讓さんが演奏されたことは、大きな意義があったと思う。

崎元 讓、ハーモニカ講座

97/6/29、河内長野市ラプリーホール

前日のコンサートのゲスト出演に引き続き、同ホール主催のハーモニカ講座が行われた。チラシや同市の公報による募集（無料）に対し100名ぐらいの応募があり、部屋のキャパシティから50名に絞ったとのことで、これを聞いただけでも非常に嬉しいことであった。

6.28 (Sat.)		
西村由紀江の音楽の森へようこそ ～ピアノとハーモニカで綴る四季～		
開場/15:30	開演/16:00	会場/大ホール
ゲスト/崎元 讓(ハーモニカ) 大阪シンフォニカー弦楽アンサンブル 河内長野吹奏楽団ブルーウインズ 河内長野市少年少女合唱団		
6.29 (Sun.)		
日曜音楽工房VOL.8		
「崎元 讓のハーモニカ講座」		
開場/13:30	開演/14:00	会場/リハーサルルーム 協力/(株)モリダイラ楽器

0 502052 618245	ラプリーホール開館5周年祝祭コンサート		
	西村由紀江の音楽の森へようこそ		
	ゲスト/崎元 讓		
	主催●河内長野市 後援●南海電気鉄道株式会社 お問合せ●ラプリーホール TEL. 0721-56-6100		
ラプリーホール 大ホール			
1997 6 28 (土)			
3:30PM 開場		4:00PM 開演	
自由席 ¥2,500 【消費税込み】			
チケットぴあ そごう大阪店		101532143000001	

ただし、チラシや公報では、クロマチックという表現は一切使っておらず、ただ単に「ハーモニカ講座」ということであつたので、もっとハーモニカをうまく吹きたい（親から見れば吹かせたい）という希望を持った、学校で習ったというシングルハーモニカを持った小学生とその両親、複音式クロマチックハーモニカを持った人、複音ハーモニカをかって吹いたことがあるという人、等々が出席していた。したがって講座も、ハーモニカの種類に始まり、クロマチックハーモニカの構造、多少のデモ演奏と質疑応答（実質全部で1時間40分くらい）となつた。

デモ演奏は、ピルスルのパガニーニの主題による変奏曲、トミーライリーのセレナーデ、テレビアニメの主題曲、同氏がNHKのドラマや寅さん映画等のバックに使つた曲であつた。

大阪からも離れた都市ではあつたが、遠くは京都からも出席されたかたもあつた。

崎元 譲 97/7/4 大阪フィルハーモニー会館

N-大フィル・クラブ第18回音楽会 伴奏 美野春樹（ピアノ）

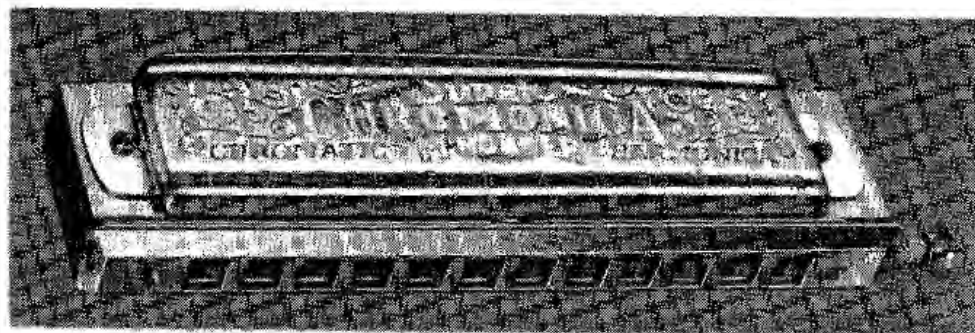
「N-大フィル・クラブ」という交響楽団のバックアップ団体の主催の音楽会で、聴衆は、クロマチック・ハーモニカを知らない、その団体の会員であつたと思われる。だから、そういうかたがたにハーモニカの良さを知ってもらって、より良かったと思う。

しかし、そのわりには、一部の聴衆のマナーの悪いのには、あきれる。風邪を引いて咳が止まらないようであつたら、気の毒だけれど、音楽を聴きに来るべきではない。ロビーで聞くべきであらう。咳やコソコソ話し声が、音楽を楽しみたいという人に、大きな迷惑をかけていることを知るべきである。

しかし、最近の音楽の聴衆というものは、クラシックのコンサートでも、みんなこんなになつてしまつたのだろうか。演奏者は、一つのミスもない、感動を与える最高の演奏をしようとしてステージに立っており、まじめな聴衆は、それに対し神経をピンと張り詰め、プログラムを開けることさえ避けているのに、咳やコソコソが聞こえると、「オマエラ、ナニシニキトンジャ」と叫びたくなる。

演奏曲目は、シューベルトのセレナーデに始まり、同野ばら、サティのジムノペディ1番、おおスザンナ、ケンタッキーの我が家、ふるさと、もみじ、星に願いを、等ポピュラーな曲を入れられていた。もちろんお得意のムーディのトレド、トミーライリーのセレナーデ、ピルスルのパガニーニの主題によるエチュード、マラゲニアも。

美野春樹さんのピアノはいつも気持ちいい。それだけに、聴衆が悪かつたことが、美野さんに対し気の毒であつた。



迷い道

常任顧問

吉森正隆

本年2月に過去10数年、学んでいた詩吟を復活させる事にしました。昨年末、自宅を引っ越ししました所、詩吟の教場(龍吟流77支部の内の伯太支部)が、徒歩1分の所にあり、二兎を追うものは、一兎をも得ずで、休んでおりましたが、ハーモニカの方も一段落ついた事でもあり、健康にも良いので、また一からやって見ようと思い立ちました。私は、師範コースでない、一般コースでは、最高の皆伝を授与されておりますが、最近、詩吟のアクセントが、全国的に力のある、日本吟剣詩舞振興会が昭和52年に提唱しました、所謂、標準語アクセントの採用で頭高、中高、平板、など、中国語の四声のような、発音をしなければどうにもならぬと言う厄介な決まりとなり、大阪生まれ、大阪育ちの私は難渋しております。未だ、多くの流派では、従来のアクセントによる譜づけで吟じておる所も多々ありますが、我々の龍吟流では、比較的早く、この吟法に則った譜づけに修正され、小生のハーモニカ多忙による一時休会中に完全に、新吟法に変更になっておりました。

然し、ハーモニカをやっていたお陰で、アクセントを音でとる方法がある事を知り、今まで習った吟を根本的に、修正中です。

このため、本年は、多少ハーモニカの出演等を調整して、詩吟の発表会に重点をおいた、スケジュールで動いております。

ハーモニカの方は、40年来の糖尿病による、血糖値の高さは兎も角、最近蛋白の数値が著しく悪く、手足のむくみに悩んでおります。担当医からは3年まえから、入院を勧告されておりますが、根が不摂生で、毎日、アルコールを飲み、休肝日は、一日も無し、友人と一緒に時は、平素の数倍を飲み、煙草もニコチン・タールの多いものを20本以上、甘いものにも目が無く、

加えてハーモニカ演奏に支障を来しておるものに、総入歯の調整、右手親指の関節炎が、半音使いに支障を来し、また修理が出来ないのが、ソロイストとしては、致命的であります。加えて、不摂生による、肺活

量の著しい低下等もあり、このさい、詩吟をやることによって、多少なりとも減煙、肺活量の回復を考えております。

現在は、正に身体を張っての、スケジュール消化です。

今年のハーモニカ等の出演記録を下記します。

1. 15、関西ハーモニカ連盟総会、昨年暮れに91歳で亡くなった、松島詩子さんの追悼に「マロニエの木陰」を演奏
1. 24、大阪キャッスル・ホテルの中国研究会で、関西ハーモニカ・ポップスと出演、トリオ演奏とソロ出演、中国歌謡
1. 25、六甲アイランド、アンダンテ・バンケットホールで、「クラシックを聞く会でリサイタル、「コーカサス風景」より村落にて、ハンガリアンダンス、5番、6番など11曲出演
4. 12、和泉市、妙泉寺において、ハーモニカの歴史の講演とソロ、「青葉の笛幻想曲」「ロシア民謡メドレー」など8曲演奏、
5. 4、中国旅行、上海、蘇州、鎮江、揚州、南京、南京より、上海行き、特別急行の特別席で、中国漫歩、太湖に行く、龍的傳人などを演奏、
5. 15、久保惣美術館、音楽ホールで毎年協賛している、「いずみのフェスティバル」でリサイタル、明治、大正の名曲、12曲、クラシック9曲アンコールを入れて22曲のハード演奏、
5. 23 泉佐野市立、生涯学習センターで、ハーモニカの歴史と、昭和歌謡変遷史(戦前編)昭和史の話と、歌謡曲の演奏20数曲、来年、連盟のハーモニカ研究会で、明治、大正、昭和戦前、戦後編等取り上げて、皆さんの参考に供したいと思っております。
6. 6、布施、太平寺小学校音楽室、東大阪音楽教育研究会、関西ハーモニカ・ポップスの合奏と、トリオ演奏、ソロは、「ターキッシュ・マーチ、と荒城の月幻想的変奏曲」
6. 15、守口門真商工会館、ビクター主催、全国吟詠コンクールに出場
6. 21、サンスクエア堺、日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コンサート、ソロ「エスパニア・カーニー、田園素描より収穫」
6. 22、龍吟流実龍吟詠会、大阪地区本部大会に出吟、入賞、

「今後の予定」

- 8. 24、龍吟流、実龍吟詠会、総本部大会、競吟、構成吟に出吟、
- 9. 4、大阪東区役所、市民コンサート、関西ハーモニカ・ポップス出演
ソロ 未定
- 9. 11、奈良市立橿原高等学校、コンサート、関西ハーモニカ・ポップス
出演、ソロ 未定
- 9. 21、龍吟流、実龍吟詠会、虎龍会、発足記念大会、構成吟とハーモニカ
- 10. 10 詩吟他流派合同吟詠会に出吟、
- 11. 9. 午前12時より神戸で、「たんぼぼの会」に出演、会場未定
～ 午後、大阪朝日生命ホール、関西ハーモニカ・ホープス第22回
定期演奏会、ソロは、牧民新歌の予定
- 11. 12、大阪松の宮小学校、ハーモニカに関する話全般、演奏指導方法
各種楽器の説明 各ジャンルの代表的曲目の演奏、
- 11. 30、関西ハーモニカ連盟ハーモニカまつり 神戸県民会館、

Victor エンターテインメント株式会社
VICP-60811



シンドルは飛んで行く、星はのびた

わが心のハーモニカ



第22回 「みんなのハーモニカコンサート」を終えて

'97.5.25 関西ハーモニカポップス友の会

事務局 大石 喜一郎

関西ハーモニカポップス友の会では「ハーモニカの普及」を目標に、次の活動をしています。

1. 関西ハーモニカポップスの演奏会の支援活動を行う。

2. 会員に発表の機会を提供する。

これが、「みんなのハーモニカコンサート」を主催する理由です。 会場の予約から出演者の募集・プログラムの編成と印刷・PR活動を含めた各方面への連絡そして会場スタッフの用意まで、すべて事務局に掛かってくるので大変なイベントです。 また開催時刻の直前にならないと会場準備にもかかれなため、出演者の皆さまにも手を貸してもらって大わらわで何とか開演に漕ぎ着けているのが現状で、遺憾ながら細部には調整不十分なことが残ってしまいます。

「みんなのハーモニカコンサート」は会員諸氏の練習成果の発表の場であり、またハーモニカ愛好者を増やしたいという趣旨から入場料は無料にしています。 これは入場者には便利であったと思いますが、主催者にすれば入場者数が事前に把握できないことになり、大きな不安と不便があります。 府立文化情報センターの多目的ホールには固定席は無く、当日スタッフの手で椅子を並べなければならないのに、その見当さえもつかないわけです。 今回も会場の最大限度である150席を用意していましたがすぐ満席になりましたので、遅く来られた人が立ち見となり、申し訳ないことになりました。

今回のコンサートはプログラム外の出演を含めて20組の出演者があり22曲の演奏がありました。演奏者の熱意が客席に伝わって、和やかな内にも本当に音楽を楽しむ「良いコンサート」になりました。内容的にも演歌からセミクラシックあるいは映画音楽も・TVソングもそれにシャンソンもあるし、更に懐メロやタンゴあるいは童謡も民謡もという限りないヴァリエティに富んだプログラムでした。演奏方法も1人でピアノとハーモニカを操る独特のテクニックやら多重録音を併用した1人合奏、歌手を交えての小編成合奏そして20人の大合奏までの変化があり、楽器にしても主体の複音のみならずロマティックも合奏用ハーモニカも登場するし、更にはミニハーモニカ・10 ホールズのデモンストレーションまでであるという全てに多様で自由なコンサートでした。準備不足もあって音響面では万全とはいえないものではありましたが、ハーモニカを愛する聴衆と情熱のある司会者に支えられて、多くの共感の内に暖かいコンサートを完了させることが出来ました。また当日沢山の方が友の会に入会してくれたことも、嬉しいできごとでした。

ここにコンサートの概況をお知らせするとともに、皆様の厚いご支援に感謝申し上げる次第です。(次回からは、開催時刻を午後に変更して、もう少し余裕を付けたいと考えています)

ご来場いただきました皆様に、誌上をお借りして 心からの御礼を申し上げます。

最後に、アンケート結果をご紹介申し上げて、ご来場者の感想をお伝えしたいと思います。

'97/5/22 「みんなのハーモニカコンサート」 アンケート集計結果

初参加の人が多くて新鮮だった。年齢を感じさせない若々しさに拍手を贈りたい。
みんなの一生懸命な姿に感動した。小学生の頃や昔のことを思い出して、目頭が熱くなった。
多様な演奏方法があるのに驚いた。楽器の種類にも新発見の思いがした。
無伴奏のこんな小さな楽器なのに、こんな素晴らしい音色が出るとはロマンティックだ。
誰もかも知らない人なのに、音色にも表情にも仕草にもそれぞれの人生を感じさせました。
バラエティの豊かさと、感性の瑞々しさが心に残った。久しぶりにいい気持ちになった。
司会者の心の温かさが伝わってきた。進行もスムーズでかつ紹介もインテリジェント的を得ていた。
独奏が多くしみじみと聞いた。関西ハーモニカブスの演奏は歯切れも良く迫力があつた。
気楽な服装が良かった。最後のポップスの制服姿は、引き締まってとても良かった。
このコンサートは、ハーモニカファンを増やすのに貴重な存在だ。
出演者に、写真をサービスしたのは、気が利いていた。

p.28 から続く

©ZYGMUNT ZGRAJA ギグモン・ツグラヤ Fusion, Poland Opera tres
稀有樂器的巧妙合奏、口琴、手風琴 精彩演奏 台湾の韻順股分公司 発売
台湾の友人から贈答あり。

ポーランドの有名なハーモニカトリオ、「コン・プリオ」のリード奏者ギグモン・ツグラヤのハーモニカとボグダンプレッツという人のアコーディオンの、クラシック演奏である。ビバルディ、マルチェロ、テレマン、バルトーク、フォーレ等のクラシック曲を吹いている。ハーモニカのクラシック演奏のCDは最近少なくなっている（現在手に入るものはマリア・ヴォルフスパーガーとチェンバー・ファンのもののみ）が、これも、クラシックハーモニカファンにとってはぜひ聞きたいものの一つになると思う。

最近台湾のハーモニカ友人から「こんなのがあるよ」と送られて来たものである。台湾で販売されているが原産はポーランドである。

新しい郵便番号をお知らせください。

この会報をお送りした、当連盟の封筒の郵便番号欄をご覧ください。

98年2月2日から、全国の郵便番号が7桁に変わります。

つきましては、新しい郵便番号が判明次第、次のいずれかの方法にて組織部長あてお知らせください。お知らせがない場合、4月号会報が旧郵便番号のままで行きます。

- ①郵便局からくれる無料のはがき
- ②総会の出欠回答

ハーモニカ 実技講習

実施報告

関西ハーモニカポップス

関西ハーモニカポップスは東大阪市の音楽教育研究会の要請に応じて、次のプログラムで
ハーモニカ実技講習会 を行いました。 所要時間は約15時間でした。

主催 東大阪市音楽教育研究会 日時 '97.6.6 (金) 14:30 開始
場所 東大阪市立太平寺小学校 出演 関西ハーモニカポップス (18人)

プログラム

第1部 ハーモニカ 合奏

曲目 ポギー大佐、白鳥の踊り、舞踏への勧誘 並びに
小学校の教材から…こぐまの二月・かっこう・虫の声…

第2部 ハーモニカ 説明と質疑

演奏の形態の説明、独奏用ハーモニカの紹介、合奏用ハーモニカの種類と紹介

第3部 ハーモニカ 演奏

独 奏：吉森 正隆
トリオ：吉森 正隆・酒井 涼爾・仲村 眞
カルテット：織田 太郎・山村 信彦・白鳥 達夫・小島 肇
学校で使っているハーモニカについての説明と演奏披露

第4部 ハーモニカ 合奏

花笠音頭、フォスター マーチング メドレー、椿姫のタンゴ
遠くへ行きたい、これが私の生きる道、ラデツキー行進曲

講習会に参加されたのは、東大阪市の先生方で1年生担任・音楽専科の方々約50人でした。特に最後の曲(ラデツキー行進曲)では、会場の皆さんに恒例の手拍子をお願いしましたが、さすがに音楽の先生だけにリズムも強弱も見事なノリで、和やかな内に終わりました。

先生方の問題意識は、『①ハーモニカの演奏方法をよく知らない、②音が混ざる、③息の調整が出来にくい、④ハーモニカを滑らすのが困難だ、⑤“吸い音”がうまく出ないときの指導方法が分からない』などのようでしたが、今回身近にハーモニカの音を聞いて『ハーモニカの音も良いものだ』『楽しく、色々な演奏方法があるものだ』『ハーモニカには独奏が合っているのかな』(演奏者のレベルに大いに依存したことはありますが…)とかの感想を持たれたようです。音の出し方(口の形)も、目の前での演奏を見て納得されたようですが、それでも“吸い音”や“息”の制御についての指導の難しさには、問題が残ったようです。(これはハーモニカに慣れた者にとっても、一番難しいことだと思いますが…)

また学校で使っている簡単なハーモニカでも、吹き方で音色が違うものだということも、実感されたようです。今回 関西ハーモニカポップスのメンバーは18人出演しました。これについても “みんなが楽しんで、また真剣に音楽を追究している姿” が好感をもって受け入れられました。

東大阪市の小学校では1・2年生でハーモニカを習っているそうです。

参加された先生方から素晴らしい感想を戴きましたので、ご紹介して結びとします。

『低学年のハーモニカ好きから音楽好きが増え、さらに他の楽器にも興味を持つ子が増えるるので、ハーモニカ指導は大切だ』『色々なハーモニカ演奏方法や演奏形態を知り、ハーモニカの幅広さや奥行きの実感した』『教材としては2年生で終わってしまうが、深く広く発展的に取り入れるべきだと思う』『KHPの皆さんが音楽を楽しんでいる姿に感銘を受けた。自分にもこんなに素晴らしい未来があったら素敵だ』

先生方と一緒にハーモニカのことを考える機会を作ってください、私達にも参考になる、有意義な会でした。これからもこのような活動を続けたいと思います。

関西ハーモニカポップスでは各方面からの呼びかけに応じて、ハーモニカの演奏を行っています。直近の予定を紹介すれば、次の通りです。

日時	場所	行事名称	演奏時間
9/4	大阪市中央区役所 ロビー	ランチタイム コンサート	約 45 分
9/11	橿原学院高等学校 講堂	文化祭	約 1.5 時間

関西ハーモニカ連盟会員の中で、このような要望があったら是非お知らせ下さい。

ハーモニカが演奏できる機会であれば、喜んで協力させていただきます。(文責 大石)

以上

ふれあいの街、神戸に流れる愛のメロディ

第8回関西ハーモニカ祭り

日時 9 7 / 1 1 / 3 0 日曜日

午前10時開場 10:30開演

場所 兵庫県民会館

9階ホール

住所 650 神戸市中央区山手通4丁目16の3

電話 078 321-2131 FAX 078 321-2139

最寄駅 JR・阪神元町駅 西出口北側から歩約7分、
地下鉄 県庁前駅 東1、2出入り口すぐ、
市バス 県民会館前すぐ

主催 関西ハーモニカ連盟

入場料 無 料

後援 兵庫県、神戸市、神戸市教育委員会、神戸新聞社、ラジオ関西、サンTV、KissFM、全日本ハーモニカ連盟、日本ハーモニカ芸術協会、ニッポン・ハーモニカ・クラブ、ハーモニカ振興会

協賛 (株)モリダイラ楽器、(株)トンボハーモニカ製作所、鈴木楽器販売(株)大阪支店、ソハマ楽器、JEUGIAコミュニケーションフォーム、神戸堂楽器店、国際楽器、ヤマハ神戸店、ナカイチ

問い合わせ等

事業部長 飛田保雄 0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

又は連盟各役員へ

会員多数に加え、ゲストも出場されます。

新しいCD

◎Jerry Murad's Harmonicats ハーモニキャッツ Time to Remember

USA The Home Shoppe Limited A21095

昨年、終焉を迎えたジェリー・ムラッドとハーモニキャッツのLPからの復刻版CDである。すでにLPで発売されているものから、22曲を入れている。アメリカのCBSの製作で、音源が良かったらしく、ノイズがなく、我々が持っているLPよりはるかにいい音で入れられている。アメリカの業者から購入。

販売価格 3500円

◎Jerry Murad's Harmonicats ハーモニキャッツ Collector's Item

上のものとは異なるCDで、ハーモニキャッツのオリジナルメンバーのものではなく、リードはジェリー・ムラッドで変わりはないが、バスはディック・ガードナー、コードはボブ・パウワーという2代目ハーモニキャッツの演奏である。

「屋根の上のバイオリン弾き」や「バイア・コン・ディオス」「ゾルバ・ザ・グリーク」「エンタイナー」「ウィリアム・テル・序曲」等オリジナル・メンバーのアルバムにはなかった曲が21曲入っている。アメリカの業者から購入。

販売価格 3000円

◎A Band In A Waistcoat Pocket/The Story of the Harmonica in Australia

Australia Larrikin 2 LRH390 CD

オーストラリアのハーモニカの歴史が分かる1908年から1936年のハーモニカ録音である。音は当然悪いが、オーストラリアにもこんなにハーモニカ奏者がいたのか、オーストラリアでもかってハーモニカの盛んな時代があったのだと、初めて知る珍しいCD（2枚組、140分）である。

ラリー・アドラーの最近のオーストラリア公演のプログラムに広告が出ていたので、オーストラリアの発売元に直接注文して買った。

◎オジョイメイ・トリオコンサート、ビデオ90分

97/4/26東京のヤマハホールで、日本ハーモニカ芸術協会主催で行われてコンサート（前号で紹介）の録画である。大矢博文氏（当連盟会員でもある）と甥と姪の3人組の演奏で、前号で紹介したように楽しいコンサートである。日本ハーモニカ芸術協会に注文して送料込み4000円で買うことができる。複数の業務用カメラで取られたものなので、画質は非常に良い。またカメラワークも良い。

◎Toots Thielemans/Live in the Netherlands, USA PABLO OJCCD-930-2

すでに10数年前にリリースされた同名のLPの復刻CDである。1980年オランダのハーグでのノースシー・ジャズ・フェスティバルでのライブ録音のもの。

電氣的なノイズまでそのまま残っており、取り返しの効かないライブ録音盤のいい面でもあり、悪い面でもある。

あそこはこうしましょう、ここはこうしましょうというような、綿密な事前打ち合わせがない、ライブ録音の面白みを感じられるCDである。心斎橋HMVにて購入

◎森本 恵夫／わが心のハーモニカ第5集、ビクターVICP-60011

鳥の歌、ハバ・ナギラ、マイ・ウエイ、枯葉、禁じられた遊び、コンドルは飛んで行く、ブンガワン・ソロ等、シャンソン、ロシア民謡、ナポリ民謡、ラテン等、今までのものとは毛色が変わった曲を演奏されている。別記事ご参照。

◎早川真琴／ハーモニカ～日本の詩情～荒城の月

モリダイラ東京でハーモニカを教えている埼玉県の早川真琴氏の最初のCDで、

赤とんぼから知床旅情まで、日本の曲14曲をクロマチックで入れている。
伴奏はシンセキーボードと思われる。

希望のかたは、1850円を入れて、340-09埼玉県北埼玉郡北川辺町陽光台
1-300-159 早川真琴へ、直接注文ください。

◎DONALD BLACK ドナルド・ブラック Westwinds、Scotland CDTRAX091

外国人の複音ハーモニカプレーヤーは非常に珍しい。今までアイルランドで製作された複音を入れたトリオのCDがあったが、今回のスコットランドの人の、セルティック（ケルト民族）のダンス音楽である。

素晴らしい日本の複音奏者の演奏に接している私には、この奏者はうまいとは全く思えない。ハーモニカもホナーの複音と思われるが、日本の複音とは異なる音がする。買って損をしたというCDもままあるものだ。

ただし、日本の複音奏者もこういうケルトのダンス音楽を吹かれると、面白く楽しいと思う。心斎橋HMVにて購入

◎Martin Simons, マーチン・シモンズ、Harmonica Gold,
England Carlton Home Entertainment Hallmark 303872

台湾高雄市の陳冠斌氏なる人からひょっこり送られて来た。

奏者は我々にとって全く無名である。比較的ポピュラーな曲を18曲演奏している。とりたててうまいとか下手とかはない。イージーリスニングである。

題名の副題に Hits, Standards and Originals Played on the Hohner とあり、ジャケットにホナーの（なぜか）複音ハーモニカの写真を使っているので、ホナーの息がかかった（援助を受けた）CDかも知れない。

類は類を呼び、私の名前もあちこちでコレクターとして知られているらしい。この陳さんは、オーストラリアの友人からの紹介ということが後で分かった。

◎HOWARD LEVY ハワード・リービー

Carnival of Soul, USA SILVER WAVE SD904

Bela Fleck & the Flecktones, LIVE ART USA WARNER BROS. 9 46247-2

この人はクロマチックではなく、テンホールであるが、私は出れば買っている。この人のほかジャン・ジャック・ミルトー、コーキー・シーゲルも買う。好きだからである。

◎DEURLOO ドゥアルー、Insunza & Deurloo/Sozinhos, Netherlands JBTD9719

知らないところにいるものだ。Deurlooは、オランダの女性（ジャケットの絵によると若くて可愛い）ハーモニカプレーヤーである。チリーのSozinhosというギタリストとともに、ラテンばかりを吹いている。もともとサキソフォニストだそうで、だから演奏はしっかりしている。オランダの友人から送られて来た。

ミュージック・マイナス・ワンCD

◎ジャズ&ポップス・フルート名演集 ドレミ楽譜出版社 2500円

収録曲目（演奏とカラオケ） 波、恋は異なるもの、サンシャイン、ダウン・オン・ザ・コーナー、やさしく歌って、アローン・アゲイン、マスカレード

題名はジャズ&ポップスであるが、リズムは、ほとんどがラテンである。

◎カラオケCD音楽館アルト・サクソフォーン・ポップス・アルバム

◎カラオケCD音楽館クラリネット・ポップス・アルバム

◎カラオケCD音楽館フルート・ポップス・アルバム

◎カラオケCD音楽館トランペット・ポップス・アルバム

以上4冊は、いずれも東亜音楽社発行2800円

便利ですよ――

吉村 則次

ボタンがとれたらマニキュアを

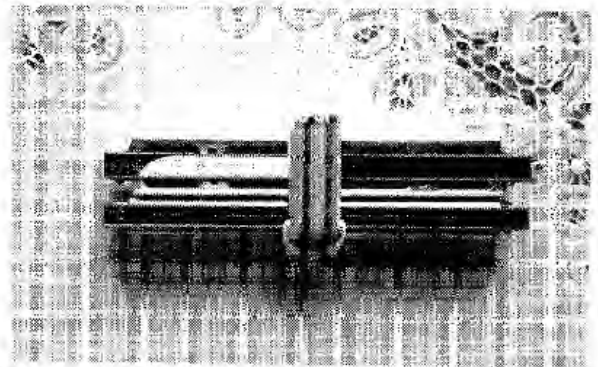
クロマチックハーモニカのスライドのボタンが、ポロリととれることがあります。それも突然に。このとき、金属用の接着剤は通常持っていないでしょうから、マニキュアが接着剤の役割を果たします。女のかたからマニキュアを借りましょう。

釣り具屋をのぞこう

釣り具屋には、いろいろハーモニカに便利なものがあります。しかも安い価格で。

まず**道具入れ**。プラスチック製で、仕切りがたくさんある釣りの道具入れ（針、テグス、浮き、ルアーなんか入れておくもの）が、ハーモニカの修理部品やねじ回しやヤスリなどの道具入れになります。

釣竿をまとめるゴムバンド製のマジックテープ付きの**バンド**が、何本かのハーモニカや、楽譜スタンドなどを、しっかりと結わえておくのに役に立ちます。また、マイクや、小型のスピーカー等の壊れ物を、エアークラップ（プチプチいう空気入りビニール包装紙）で包んで、ひも代わりに結わえておけます。それも荒物屋で買うより、釣り具屋の方が安いようです。



浮き用ゴム、これは以前（96/4月号）にもご紹介したとおりですが、クロマチック・ハーモニカのレバーの緩衝材（むし）に最適です。太、中、細の3種類あって、「細」がホーナーのハーモニカに最適です。釣りのために夜光になっていますが、ハーモニカの中で光っても見えません。

ピッチが変えられるCDプレーヤー

カラオケでハーモニカ演奏をする場合、ハーモニカが音の高さを変えられない楽器ですから、伴奏の方の音の高さ（ピッチ）をハーモニカの音の高さに合わせる必要があります。少しでもピッチが異なると、何かおかしく感じます。

A=443と440 ~~✕~~ という僅かな違いでも、「何か変だな」と感じます。

世の中に多くカラオケが出ておりますが、本格的なクラシック音楽のものやジャズのもものは、A=440という国際標準のピッチで演奏されているものが多いようです。

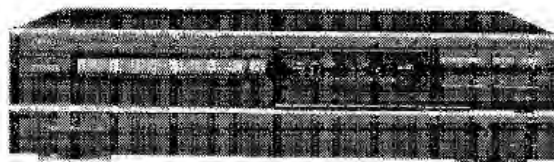
歌謡曲や演歌にいたっては、どんなピッチで演奏されているか、実際に聞いて測ってみないと分かりません。ご存じのとおりホーナーのクロマチックは、A=443のピッチで調律されていますので、カラオケの方のピッチの変更が必要となってきます。

従来、私は、そのカラオケをいったんカセットテープにとり、チューナーで測定しながらそれをスピード変更してプレイバックしてMDにっていました。これでは1段階音が劣化します。

最近デンオンからピッチが変更できるCDプレーヤーが出ていることを知り、それを買いました。

デンオン DENON DCD 1515AL、定価66000円です。

ピッチが、0.1%刻みでプラスマイナス12%まで変更できるようになっています。440で録音されたカラオケを443にするには0.6-0.7%、半音を上下させるには、プラスマイナス約6.2%変更すればいいようです。ピッチを数字で表示するのに、真ん中のA(ラ)の音の1秒あたりの振動数で表示しています。A=440というのは、A(ラ)を鳴らすと1秒間に440回振動しているという意味です。国際標準を440と決めておきながら、最近では442で調律されることが多いとのこと。バロック音楽は、440より更に低いピッチで演奏されるそうです。



COMPACT DISC PLAYER
DCD-1515AL

標準価格66,000円(税別)(ワイヤレスリモコン付)

■再生スピードの調整が可能なD.P.C.機能を搭載。
CD再生のピッチ(速度)を0.1%刻みで±12%
までデジタルPLLで変化させることのできるD.
P.C.(デジタル・ピッチ・コンタロー)を搭載。楽
器のコピー練習など様々なオーディオの楽しみ
方ができます。(付属リモコンにて操作します)

97/7/12 土 研修会

ハーモニカ・カラオケ・教室 吉村 則次

次のとおり行われました。参加人数11人

NHK-TVのハーモニカに関する放送のビデオ鑑賞

カラオケ・デモ 「悲しみの予感」

カラオケの効用

寸づまりと間延びの矯正、リズム、正確さ、楽しさ

カラオケの欠点

伴奏が主体になり、追っかけられる。間違えると取り返しがつかない。演奏がやさしくなる、安心して演奏できる

五線紙を数字譜に

くちなしの花、ウナセラディ東京、愛燦々を題材として、
楽譜の書き直し五線紙の読み方、キーの変え方(移調)
移動ド方式(曲のキーとおなじキーの楽器を使う方法)
固定ド方式(なんでもC楽器でする方法)

実地練習

くちなしの花、ウナセラディ東京

カラオケの注意事項

リズム、キー、ピッチ、前奏、間奏

カラオケ伴奏の見つけ方、作り方、加工のしかた

短縮の仕方、ピッチの変更、キーの変更

受講者が持って来たカラオケの練習

岡谷氏が持って来られた「港町一三番地」を練習した。

余興——題名あてクイズ 1等は、橋本隆一郎氏で賞品として

12穴ハーモニカを獲得した。

楽譜の研究、日本ハーモニカ芸術協会の試験問題「帰れソレントへ」を題材にして

マイナーとメジャー、転調、伴奏(ベース、コード)の
つけかた

フリー・ステージ 6人のかたが演奏された。

ハーモニカは衛生的か

入江章次

”ハーモニカほど衛生的な楽器はない”と言え、”なにを気の狂ったことを言うのか”とおっしゃる方は、ハーモニカの不衛生さに心を痛めて、衛生面に普段から相当気を配っていらっしゃる方だろう。これほどくわえてしゃぶりまわす楽器は、他には無い。尺八なんて言う言葉があるが、ハーモニカは尺八の比では無い。単こう楽器、複こう楽器よりも実際は尺八のほうが衛生的だ。

人のハーモニカを、”ちょっと見せて”と言って、吹口であろうと何であろうとさわりまわす方がいらっしゃるが、不衛生極まりない。

O-157は衛生面の大切さを大いに認識させたし、A型から何型まであるのか知らないが、肝炎の感染力の強さには驚かされる。中国では一つ大皿から皆でとって食事をするのだが、これによって伝染する病気があり問題になりつつある。

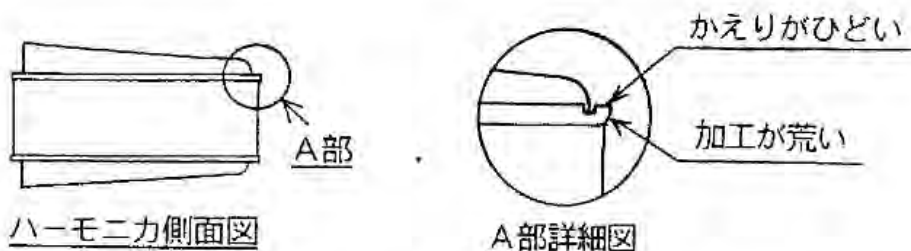
人様のハーモニカを修理してお返しするときは、きちっとアルコールで消毒しているし、ガーゼは使い捨てにしているが、なかにはアルコールに浸した布を何度も使って、黒ずんだものを使っている方がいらっしゃいます。アルコールも万全かどうかは分かりませんが、こんなことを書いていると、枚挙にいとまがありません。

新品のハーモニカは問題が無いかと言うと、それがとんでもない。3年前に心齋橋を東にすこし入った楽器屋さんで Cm と C#m を買って返って見たら、開けてびっくり、世の中にこんな汚いハーモニカがあるのか、考えられないハーモニカが入っていた。外箱は汚いが、ほとんど売れないキーのハーモニカだからと思ったのが、大間違いだった。ハーモニカを買うとき、店にあるハーモニカを全部吹いてみて、一番良いものを買う人が多い。その後消毒をしないで売っていると考えたほうが間違い無い。

近い将来、ハーモニカで感染、なんて言うときがくるような気がする。そうなるからでは遅い。メーカーと、厚生省にアピールしようではありませんか。

ではどうすれば良いか、CDやカセットテープの包装の様に、封を切れないようにしてほしい。そうでないと良心的な人や実状を知らない人に、害を及ぼす事になる。

それと複音ハーモニカには危険なものがある。下図の吹き口部分の角が、製作時のかえりがでたり、傷があつて、口元を傷つけるものが非常に多い。機種によっては百発百中だ。これもメーカーに今日から改善してもらわなければならない。



ハーモニカはハード面においても、多くの問題があります。どんどん改善させるようにしていこうではありませんか。

Fine.

97-6-28

ハーモニカ(コード)を吹いたり、吸ったりすると、鈴のような金属音が時々鳴ります。バルブのようなビリビリという音ではありません。申し訳ありませんが、何が原因で、どこを修理すれば良いのか教えて頂ければ幸いです。

北尾 秀夫(京都)

97-6-29

実際に見てみないと確実なことはわかりませんが、「ひょっとしたら」リードが歪んでリードプレートに触れている、ということが考えられます。

会報131号(4月号)の37pをご覧ください。ゲージをリードとプレートの間に通してチェックしてみてください。0.015のゲージがスムーズに通らないようであれば、それはそちらの方にリードが寄っているということです。

0.02のゲージを突っ込んで、反対側に押してみてください。

それでもだめなら、原因はほかにあるのでしょうから、さらにチェックが必要で、コードハーモニカは、プレートが外れないし、リード毎にバルブがついているので、修理はやりにくいと思います。

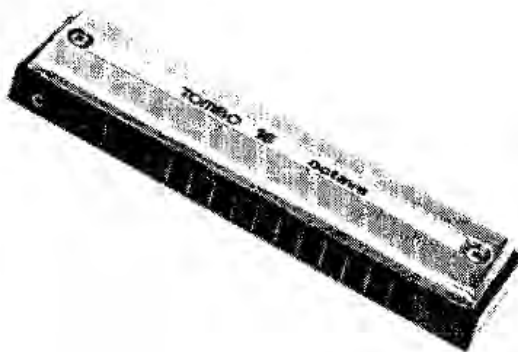
吉村 則次(堺市)

『ハーモニカが吹きたい』

痛みが強く、横になって安静を続けて三日になる。
夜・昼の時間が逆転した生活が今日もつづく。
深夜放送を耳で聴く。
今日の花ことばは、真実だそうだ。
五時前にアナウンサーが世界の天気を知らせてくれている。
亡くなった『テレサ・テン』の歌声が『何日君再来』の曲にのって流れてきたー。ー。
今練習している曲の一つだ。
譜面立てを横に置いて吹いてみたが唇が乾き難しい。
上向きの姿勢ではうまくいかない。
唾液で濡らしながら続ける。が・。
まだ数字符がうまく読めないし、下手なので拍も合わせずらい。
枕の上で頭を振り、調子をとるが目が眩(ま)いそうになり、やめた。
腰痛は今までの経験で治るまで一週間はかかるようだ。

中島 喬

食事の前にソロソロ起き出してCDのボタンをプッシュ。
反復して聞きながらの『レックスン』だが、すぐ痛くなり早々に床に戻る。
今日も熟睡出来ず、転た寝のつづく夜が明け。
早く治して『ハーモニカ』を、『吹きたい』。



ご当地ソング総まとめ

白鳥達夫

日本各地の地名を織り込んだ、いわゆるご当地ソングを県別に調べて見ました。二ヶ所にまたがっているものは両方に入れましたが、三ヶ所以上のものや、瀬戸とか北国とか漠然と広いものは省きました。全集8冊、およそ3000曲の中から見つけ出したのは288曲、やはり東京が最も多く、128曲で44.4%を占めています。続いて大阪 46、北海道 41、神奈川 27、京都 16、静岡 15、長崎 15、青森 12、兵庫 7、岐阜 7、の順になっています。

それでは、関西地区の曲名をご紹介します。何曲位ご存じでしょうか？

滋賀	琵琶湖周航の唄	大阪しぐれ	ちょっと待って大阪
京都	ああ新選組	大阪情話	月の法善寺横丁
	宇治川哀歌	大阪すずめ	道頓堀川
	女ひとり	大阪つばめ	道頓堀行進曲
	加茂川ブルース	大阪で生まれた女	道頓堀人情
	岸壁の母	大阪ナイトクラブ	浪花恋しぐれ
	祇園小唄	大阪の女	浪花盃
	京都から博多まで	大阪の夜	浪花そだち
	京都去りがたし	大阪ふたりづれ	浪花の夢
	京都の恋	大阪ブルース	浪花物語
	京都の夜	大阪暮色	ぬれて大阪
	京都ブルース	大阪ものがたり	野崎小唄
	京都慕情	大阪野郎	ふたりの灯り
	京のにわか雨	大阪ラブソディ	ふたりの大阪
	古都の旅	大阪ろまん	二人の御堂筋
	嵯峨野の女	王将	ブルーレイン大阪
	竹田の子守唄	お百度こいさん	兵庫 霧の港神戸
奈良	旅愁 - 斑鳩にて	悲しい色やね	三の宮ブルース
	壺阪情話	釜ヶ崎人情	そして神戸
和歌山	和歌山ブルース	河内遊侠伝	ひとり神戸
大阪	雨の大阪	新地ワルツ	港神戸の女
	雨の御堂筋	好っきゃねん	別れた人と
	戎橋ブルース	船場ごころ	六甲おろし
	大阪ぐらし	宗右衛門町ブルース	まだまだあると思います。愛唱の曲が漏れていましたらご啓下さ
	大阪ごころ	たそがれの御堂筋	い。一応の傾向がおわかり頂ければ幸いです。

会員の異動

97/8/7現在
組 織 部 長

新入会会員紹介

—九州のかたが二人も入会—

玉井 成志 874 別府市南花園町4組 電話番号連絡なし
別府市在住の御連盟会員、有宗好人氏より、会報第132号を拝見する機会を得ました。今年3月長崎市で厚木市のプロ演奏を聞き、4月には九州ハーモニカ連盟の発表会に参加し、眠っていたハーモニカ熱が再燃している一老人であります。余生を更に勉強したいと考えますので入会させていただきますようお願い申し上げます。

玉井 成志 (別府市、70歳)

宮田 哲夫 816 福岡市博多区麦野4-7-1 092 585-1410
中原 一成 563 池田市旭丘3-1-18 0727 61-4747
菊池 和子 565 吹田市五月ヶ丘東8番C502 06 339-0995
辻部 暁子 559 大阪市住之江区中加賀屋1-901-804 06 685-6399
田中 廻子 661 宇治市伊勢田町砂山6-165 0774 20-4398(読み方みちこ)
これで会員は198人になりました。

退 会

川端 昭吾 小野 清

お悔やみ申し上げます。別の世界でも
ハーモニカを続けてください。

樋口 武雄 様 97/2没
三木 素三男 様 97/2没

住居表示の変更

穂積 庄三郎 泉南市樽井4-28-23 グランドミールC-205

会員名簿の訂正

前号に掲載の会員名簿に、編集局のミスにより、誤りがありました。お詫びします。
ご訂正ください。

p57及びp61 織田太郎 電話番号 (正)06 358 7008 (誤)06 385 7008
p60及びp62 吉田 和男

氏名 吉田 和夫 住所 570守口市東光町3-8-13 電話は変わりなし

有線放送に

ハーモニカが流れています!!

チャンネル B / F 3 0 Stereo

9月1日から月末まで、一日中ハーモニカが流れています。

演奏者は、(順不同)森本恵夫、和谷泰扶、徳永延生、藪谷幸男、大石昌美、吉森正隆、クロード・カーデンで、1日約90曲が繰り返し流されます。

有線放送を契約されているかた、ぜひ聞いてください。

堺市でハーモニカ講習開始

講師 関西ハーモニカ連盟副理事長 吉村 則次
主催者及び場所 堺市教育文化センター 中文化会館
4階ミュージックルーム
住所 599堺市深井清水町1426 (ソフィア・堺)
泉北高速鉄道、深井から歩10分
電話 0722 70-8110
期間 97/10/31(金)から98/3/20(金)まで11回
時間 第1・3金曜日 夜7時から9時まで2時間
使用楽器 12穴単音ハーモニカ又は複音ハーモニカ
費用 無料、ただし楽器とテキストで約5000円
募集 97/9/1から。申し込み者多数の場合は抽選
詳細問い合わせ 中文化会館 井村美穂



大阪平野区にて第2回ハーモニカ教室

主催 財団法人大阪女性協会
場所 大阪市女性いきいきセンター南部館
住所 547大阪市平野区喜連6-2-33
地下鉄谷町線「喜連瓜破」歩3分
電話 06 705-1100
期間 97/9/18-12/4 12回
時間 毎週木曜日 13:30-15:30 2時間
使用楽器 複音ハーモニカ(クロマチックも可)
費用 9,600円、(楽器、テキスト代は別)
講師 宇佐美 進
募集 現在募集中 9/4締め切り(男性も可)
詳細問い合わせ 富岡恭子、有元裕雅

今年10月初来日し、97/10/25浜松アクトシティにて演奏する
ブレンダン・パワーのCD、

New Irish Harmonica

在庫あります。クロマチック及びテンホールズで、アイルランドの民謡、ダンス
曲を演奏しています。送料消費税込み2500円です。

郵便振替口座 00990-6-96827 加入者名 吉村則次

591 堺市東浅香山町3-104-5-201

吉村 則次

電話及びFAX 0722 51-9398

関西ハーモニカ・ポップス 第22回定期演奏会

♪日時 '97年11月8日(土)

14:00開演 13:30開場

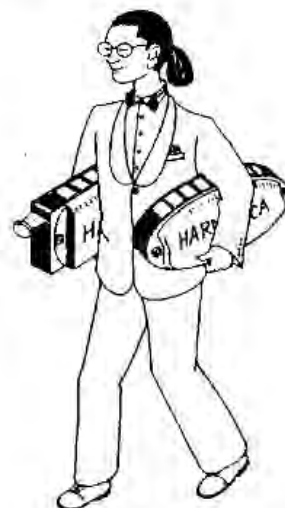
♪場所 大阪 朝日生命ホール

(朝日生命館 8階)

中央区高麗橋4-2-16

地下鉄・淀屋橋下車
12番出口を出たところ

☎ 06-202-3919



♪入場料 ¥1,500.-

♪プログラム

越天楽—今様—黒田節	ハイケンスのセナデー
ヴァイオリン協奏曲(パガ)	菩提樹(シュベト)
フォスター—マチグドレ—	ホフマンの舟歌
慕情	ひまわり
南京豆売	クマーナ
ハバナギラ	誇り高き男
真珠の首飾り	ボタンとりボン
魅惑のワルツ	ブルータンゴ
フェリシア	さらば友よ
結婚式と芦笛のボルカ	ドリゴのセレナーデ
ムーンライトセレナーデ	ボギー大佐
牧民新歌	その他
昂 大海阿故郷 夜来香 (凌淑倩)	

(変更する場合があります)

♪メンバー

白鳥達夫 (編曲・指揮)	
織田太郎	仲村 眞
屋嘉比盛行	橋本隆太郎
入江章次	山村信彦
千田清忠	後藤貞男
林ヨシ子	吉森正隆
田代敏胤	村上浩一
青木 聡	大石喜一郎
天野恭子	坂井信子
酒井涼爾	小島 肇
松川義明	植田理子

♪ゲスト

凌 淑 倩 (上海新歌劇団
専属歌手)

♪主催 関西ハーモニカ・ポップス 連絡先 酒井06-942-0383 白鳥06-728-7951

♪後援 全日本ハーモニカ連盟 ニッポン・ハーモニカクラブ
関西ハーモニカ連盟

京都 ハーモニカ アンサンブル

指導者・アレンジ編曲 小林 忠 夫

練習場所 京都市下京区花屋町西洞院角
新井善久方 TEL 075-361-3982

練習日 毎週火曜日 午後 7時30分 より

結 成 昭和34年頃 京都ハーモニカクワルテット二代目として
小林忠夫を中心にハーモニカ四重奏として結成された。

活 動 京都市主催の土曜コンサートその他にて演奏活動をする。
昭和45年頃よりその活動をエンゼル合奏団の指導を中心
とした、大阪で開催された世界万国博覧会に再々出演し、
この合奏団の中から三代目京都ハーモニカクワルテット
(和谷優広、和谷泰扶、松井健治、水間博明等)が活躍し
た。この合奏団から世界的クロマチック奏者和谷泰扶氏が出た。
またこの後輩の中からペガサスとカルメンの四重奏
団より四代目京都ハーモニカクワルテットが結成されアン
サンブル部門で世界第一位に輝いた。

平成に入り京都ハーモニカクワルテットに刺激され二代目
クワルテットのメンバーを中心に京都ハーモニカシックス
が結成され人数も増えて京都ハーモニカアンサンブルとな
った。現在はハーモニカを中心にドラム パーカッション
を取り入れ多彩な演奏を行なっている。

平成8年には豊中市民会館で歌謡曲大会で演奏したり、平
成9年3月には神戸文化中ホールで兵庫県中央吹奏楽団に
賛助出演、7月には京都洛陽教会で「七月の風」の演奏会
を開き好評を得た。

内容的には一人一人の実力をアップする様、個人のメロデ
ィーを他のメンバーが伴奏して盛り上げ実力をつけさず、
又全体的に打楽器パーカッションを取り入れて雰囲気をも
盛り上げている。

リーダーの小林忠夫は京都ハーモニカクワルテットの編曲
アレンジを見ているので我が京都ハーモニカアンサンブル
も編曲・演奏も楽し内容となっている。

田 中 祥 雄

'97 ロビー
コンサート 9月

ハーモニカ・アンサンブル

by 〈小林忠夫と京都ハーモニカアンサンブル〉

手のひらに入る1本の小さなハーモニカがかもし出す
音の世界をお楽しみください。



—— 小林忠夫プロフィール ——

1931年（昭和6年）生まれ。幼少時よりハーモニカに親しみ、
長じて編曲、楽器学を故井上隆寿（元全日本ハーモニカ連盟
参与）に師事。マリンバ、パーカッションを山高卓人（現日本
打楽器協会副会長）に師事。

現全日本ハーモニカ連盟理事
関西ハーモニカ連盟常任顧問
日本マリンバ・アカデミー理事
京都エンゼル合奏団主宰

この合奏団より1989年世界ハーモニカコンクール第1位和谷
泰扶氏（ドイツ在住）、1993年世界ハーモニカコンテストアン
サンブル部門第1位京都ハーモニカクワルテット（4代目）を
輩出、又、現在活躍中のすぐれた子弟を育てる。なお京都ハ
ーモニカクワルテットは初代リーダー井上隆寿、2代小林忠夫、
3代和谷優広、4代和谷篤樹と続き、60年の歴史を持っている。
現在は各地の幼稚園、小学校などで器楽指導、編曲でも活躍中。

〈京都ハーモニカアンサンブルのメンバー〉

新井善久 田中祥雄 木下加奈美
吉見 忠 高畑幸夫 赤井由美子
吹上晴彦 吉見 治 小林忠夫

— 曲目 —

ラ・クンバルシーター
マラゲーニャ
シャンソンメドレー

他

と き：'97年9月20日（土）18:30～

と ころ：コープこうべ 生活文化センター 1Fロビー

参加費：2,500円（1ドリンク付）

前売2：200円

定 員：45名（事前にチケットをお求め下さい）

[チケットは生活文化センターとシーアカルチャープラザ受付にあります]



コープこうべ生活文化センター ☎（078）431-5273



H	R	O	I	A
A	M	N	C	

関西ハーモニカ連盟

ハーモニクス大阪のコンサートを聴いて
野瀬 敏男

8月の末というのに相変わらずの暑さ、そんな日曜日の午後のひととき、楽しみにしていたハーモニクス大阪主催のチャリティーコンサートが満員の聴衆を集めて、交野市ゆうゆうセンターで開かれました。

舞台の構成は3部からなり、観衆を魅了した3時間の熱い舞台でした。

第1部は「ハーモニカの楽しみ」と題して軽妙なタッチで女性司会者からハーモニクス大阪の5人の紹介があった後、メンバー同士間で二重奏、三重奏、四重奏を披露、しめくりは気のあったところで見事な演奏の「コンドルは飛んで行く」でした。

第2部は「友情に支えられて」のテーマで地元交野市のギター・マンドリン・アンサンブルが友情出演、マンドリン独特の軽やかなソフトな演奏6曲を楽しみ、次にハーモニカとピアノ、琴、ギターとそれぞれ共演、今までに聴けなかった異色のハーモニーに魅せられ、特に琴との演奏には感動しました。

最後を小林忠夫先生のシャンソンメドレーで飾り、聴衆の間からはさすがプロという声が囁かれました。

第3部は当日のメイン、ハーモニクス大阪の舞台、アンサンブルのサウンドの素晴らしさを存分に発揮、会場は万雷の拍手喝采でした。アンコール曲エスパニアカニー、アニー・ローリーも無事にこなし、フィナーレを飾ってくれました。

今回のコンサートはプロデュース、演出、音響、そして出演者の方々も完璧で、全員が舞台にかけた努力は大変なものであったと推察します。改めてその努力に敬意を表すると共に、関西にこんな素晴らしいアンサンブルがあることを再認識しながら、私たちがハーモニカの普及のために頑張ろうと思いました。

ハーモニカは合奏だ！！

——97/8/24ハーモニクス大阪コンサート——

吉村 則次

ハーモニカは、いくら上手な人のものを聴いても、伴奏なしのソロでは、なにか哀愁を帯びてしまう。その音色に適した音楽を1-2曲だけ演奏するのにはいいが、一般的な音楽を演奏する場合、それだけでは物足りない気がする。特にコンサートホールで一連のプログラムを行うには、伴奏なしのソロでは聴衆を引き付け続けるのは非常にむずかしい。

その点、合奏はいいなと感じさせたのが、このハーモニクス大阪のコンサートであった。

完全な伴奏なしの独奏は、村上博昭氏の「浜辺の歌」と、金川一氏の「青葉の笛」と、ゲストの小林忠夫氏の「シャンソンメドレー」のみで、あとはほとんどアンサンブル（宇佐美進、金川一、西本豪介、吹上晴彦、村上博昭）で、たとえ独奏であってもピアノ、琴、ギターの伴奏をつけたり、あるいはハーモニカの二重奏であったり、であった。

ハーモニクス大阪の演奏はよく聴くが、今回さらにうまくなったと感じた。

昨年に関西ハーモニカ連盟主催の西日本コンテストで優勝して以来、あちこちからよく声がかかるので、演奏機会が多く、そのためよく練習されるせいだと思う。

PAも人に任せず、自分で所有している設備で行ったのもよかったと思う。リバーブと楽器間のバランスがよく、いい音で聞こえていた。

定員540名の交野市の「ゆうゆうセンターホール」が一杯になっていた。それも我々が顔見知りのハーモニカ愛好者ではない人が多いのが嬉しかった。

当日のアンサンブルのプログラムは、友情出演及び上に掲げた伴奏なしのソロを除いて、第一部、黒田節（トリオ）、故郷の廃家（カルテット）、ドラえもののうた（クインテット）、コンドルは飛んで行く（クインテット）

第2部、美しきロスマリン（ピアノ伴奏ソロ）、小犬のワルツ（同）、アラビアを行く（琴伴奏ソロ）、さくら八段（同）、かあさんのうた（ギター伴奏ソロ）出船（同）、

花（ギターとハーモニカ2本）

第3部（全部クインテット）、マルタ島の歌、ムーンライトセレナーデ、

マンボNo. 5、大阪ラブソディー、ドミノ、チャールダーシュ、ラ・クンパルシータ、
アニー・ローリー、今日の日はさようなら、

であった。

私ごとになるが、私が差し上げたアル・スミス編曲の「マルタ島の歌」と「ムーンライト・セレナーデ」が演奏されたのには、特に嬉しかった。こんなバンドになら、もっと合奏譜を提供したい。また、ハーモネットという珍しいハーモニカを使われたことも、興味を引いた。

どれ一つとしてと、私の知らない曲はなく、聴くのに気持ちが良かった。

むずかしそう（に聞こえる）な、人の知らないものを1曲ぐらいやらなければ、コケンにかかわると考える演奏者も、ままいるが、聴衆は、音楽を聴く場合、次にどういう音が来るのかが分かっていると、知らないうちにそのメロディに自分の気持ちなり体の動きを合わせているわけで、したがって知っている曲を聴くと安心して聞ける。反面、知らないメロディが来ると、聴くのに疲れるということはよく経験することである。

現代音楽の、キーの定まらないような音楽がそうであり、そのような曲はハーモニカでは絶対に避けるべきと思う。

一つ、ハーモニクス大阪に注文をつけさせていただくとすると、ソロのときには（アンサンブルのときにはやむを得ないとしても。伴奏付きソロも含め）なるべく楽譜を見ないようにしてほしいことである。

聴衆は、音楽を聴くだけではなく、演奏を見るためにも来ている観衆でもあるわけで、講面立てで顔が隠れてしまっても（たとえ隠れていなくても、楽譜に釘付けで聴衆を見ないのでは）、聴衆に対して失礼になるのではないだろうか。

いずれにせよ、今回のハーモニクス大阪のコンサートは、野瀬敏男氏も感じられたように、他のハーモニカアンサンブルに対し、大きな刺激となったと思われる。

あとひとりで200名に！

組 織 部 長

新 入 会

棚橋 隆弘 571門真市千石東町25-9 0720 82-7470

これで会員数は、199名になりました。あとひとり！

会 員 名 変 更

旧名称 奥野 隆司 新名称 山水 隆丞 電話 078 221-0509

当連盟ハーモニカ祭り 97/11/30兵庫県民会館

307名が出演

当連盟ハーモニカ祭りは、同封プログラムのとおり行われますが、出演者は60組（人）に達し、それぞれのアンサンブル構成員も数える出演者総数は、307名となりました。

今までにない、多くの出演者数です。複数のプログラムに出演されるかたを延べ数で数えると、なんと409人となります。

堺市ハーモニカ講習締め切り

本誌35ページに記載の堺市のハーモニカ講習の申し込み締め切りは9月13日、したがって本誌が発行される9月16日には締め切りが過ぎています。

事前に前広にお知らせできなかったこと残念。なお、堺市の主催なので対象者は堺市在住、在勤、在学に限るとのこと。

NHK神戸文化センター
ハーモニカ合奏教室のメンバー
“星空の夕べ” に出演

村上 浩一

平成9年8月24日(日)午後7時から、地区ふれあいセンター主催により、神戸市垂水区星陵台、神戸商大跡の被災者仮設住宅(約200世帯)前広場において、第4回星空の夕べが開催された。

仮設入居者の皆さん方に、ひとときのやすらぎをとということで、NHK神戸文化センター・ハーモニカ合奏教室の有志メンバー10名が参加、赤とんぼ、ふるさと、バラが咲いたを合奏、誰か故郷を想わざる、新雪、ラ・クンバルシータを独奏した。

このほか、ギター伴奏により、全員で歌声を合唱、琴とフルートによるアンサンブルが行われ、午後8時30分に閉会した。(プログラム及び演奏者名省略)

敬老慰安会 (終了後のお知らせで恐縮)

村上 浩一

日時 平成9年9月15日(敬老の日)午前10時~12時
場所 神戸市長田区 真陽小学校 体育館
主催 しんよう、ふれあいのまちづくり協議会
曲目 故郷、赤とんぼ、村まつり、里の秋、二人は若い、ああそれなのに、籠の鳥、湯島の白梅、名月赤城山
出演者 ハーモニカ独奏 村上 浩一

レターボックス

森本恵夫さんに会うのを楽しみにしています

アート・ダーネ (オランダ)

吉村 則次さんへ

森本恵夫さんがトロシゲンのハーモニカフェスティバルに来られることお知らせいただき、胸が躍ります。また、森本恵夫さんのCD「我が心のハーモニカ」第5集をありがとうございました。

トロシゲンで1対1で森本恵夫さんにお会いしたいと思っています。そして、少しテクニックを習いたいと思います。

それで、森本恵夫さんから習うために、トレモロハーモニカを少し持って来てくれませんか。トンボ・カタログ8ページの#3121のCとC#(1本30ドルのもの)です。

トレモロハーモニカの演奏方法を習って、バレル・オルガン博物館(会報本誌13ページ参照)で、あなたから寄贈されたDとD#マイナーハーモニカを使って、デモ演奏したいと思っています。10月14日ドイツ・ウルムの町角でハーモニカを吹いている日本人を探します。あなたにお会いするのを楽しみにしています。

アート・ダーネ (オランダ) から吉村則次へ

注、吉村は、関西地区からの他の5人とともに、トロシゲンに行く前に、10/14ミュンヘンの近くで、世界一高い161mの塔を持つ大聖堂があり、アインシュタインの生誕地でもあるウルムという古い町に滞在します。偶然、ダーネとその家族と友人もこの日ウルムに行くことになっていたもの。



吉村則次からダーネへ

ご意向は、森本恵夫さんに伝えました。きっと受けてくれると思います。なお、トロシゲンでは、岩崎重昭さんが複音ハーモニカのセミナーをやりますから、これにもぜひ出席してください。ウルムでは、もし観光客が少なければ、大聖堂の塔の上かアインシュタインさんの前か、あるいはドナウ川の遊覧船の上で我々が見つかると思います。

ウルムでは路上でハーモニカを吹いても文句は言われませんか。

ドイツへ51人！！

岩崎重昭さんからの最近の連絡によると、日本からトロシゲンの大会に参加する人は、岩崎重昭さんのツアー・グループで、森本恵夫さん、石川澄男さん、岸田慶蔵さんらを含め40人ということです。関西から7人、それにどちらにも加わらずに個別に行かれる人が4人おられるようですから、全部で51人になると思われま



「朋ちゃんが使ってるのはどれ」。最近、その店員に尋ねてハーモニカを買っていく女性客が増えているという。一日にハーモニカといっても種類は様々。その用途や特徴をみてみよう。

「朋ちゃんが使ってるのはどれ」。最近、その店員に尋ねてハーモニカを買っていく女性客が増えているという。一日にハーモニカといっても種類は様々。その用途や特徴をみてみよう。



まずは「テンホールズ（10穴）」と呼ばれる「ブルースハーモニカ」や「ロックやフォークに向いており、使用するアーティストも多い。ちなみに朋ちゃんこと人気歌手、華原朋美さんが使用している

のこの種類だ。上下2段に穴がある「複音ハーモニカ」は2枚のリードが同時に鳴るので音程に厚みが出る。よく似たものに「重音ハーモニカ」があるが、こちらは2枚のリードの片方が1オクターブ低くなるので、さらに幅広い音程が楽しめる。

そして、上級者向けの「スライド式クローマチックハーモニカ」も、横のスライドを押すことにより半音が出せ、ジャズやクラシックで使われる。最後は「合奏用ハーモニカ」。小学校の音楽教材としておなじみだが、ヤマハ広報（東京）によると、最近ではピアノコードの合ったものを選ぶ

「どれにしようかな」（三木楽器心齋橋店）

にその座を奪われつつあるそう。そんな中、一番よく売れているのが「ブルースハーモニカ」。三木楽器心齋橋店によると、中年層に多い愛好家やロックバンドを組む若年層に加え、今春あたりから10代、20代の若い女性が増え、昨年比130〜150%増の売り上げという。3000円前後の手の届く値段、手のひらサイズでポケットに入る手軽さが若者に受けているようです」と同店の売り場担当者。



「どれにしようかな」（三木楽器心齋橋店）

印刷のための期間を考慮して、会報の原稿の締め切りは、発行日から1カ月前になっております。したがって、原稿締め切り後（原稿を印刷会社に送付後）発行日までの1カ月間に提出いただいた原稿や、その後に入りましたニュースを、このように追加版の形で作成し本誌に折り込みしております。